

# 監 査 報 告 書

平 成 17 年 9 月

兵 庫 県 監 査 委 員



兵 監 委 報 第 14 号  
平 成 17 年 9 月 21 日

兵 庫 県 知 事 井 戸 敏 三 様

兵 庫 県 監 査 委 員

印

久 保 敏 彦 (印)

岡 康 榮 (印)

酒 井 隆 明 (印)

天 宅 陸 行 (印)

### 監 査 の 結 果 に つ い て

地方自治法第199条第9項の規定により、平成17年6月6日から8月22日までの間に実施した本庁、地方機関及び財政的援助団体等の監査の結果を別添のとおり提出します。

なお、監査委員 久保 敏彦は同法第199条の2の規定により自治研修所の監査を実施しておりません。



- 目 次 -

第1	監査報告の概要	1
1	監査の実施方針	3
2	監査の実施状況	3
3	監査結果の総括	8
第2	本庁の監査結果	11
	企業庁	13
	病院局	14
第3	地方機関等の監査結果	17
	県民政策部関係	19
	企画管理部関係	19
	健康生活部関係	29
	産業労働部関係	29
	農林水産部関係	30
	企業庁関係	31
	病院局関係	32
	教育委員会関係	54
	公安委員会関係	60
第4	財政的援助団体等の監査結果	63



## 第 1 監査報告の概要





## 1 監査の実施方針

### (1) 定期監査

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が適正かつ効率的に行われているかを主眼として、重点監査項目に留意し監査を実施した。

### (2) 財政的援助団体等監査

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政的援助等に係る出納及び出納に関連する事務の執行が適正に行われているかを主眼として、監査を実施した。

## 2 監査の実施状況

### (1) 監査対象

#### ア 定期監査

監査の対象とした本庁及び144地方機関等の名称及び監査の実施期間等は、次表のとおりである。

実施機関名	監査実施期間	監査結果
企業庁	平成17年 8月 3日	13頁
病院局	平成17年 8月 3日	14頁
県民政策部 県立神戸生活創造センター	平成17年 7月 5日	19頁
県立生活科学研究所	平成17年 6月27日	19頁
県立男女共同参画センター	平成17年 6月14日	19頁
企画管理部 神戸県民局	平成17年 7月 4日、 7月 5日	19頁
阪神南県民局	平成17年 7月 7日、 7月 8日	23頁
阪神北県民局	平成17年 7月12日、 7月13日	25頁
丹波県民局	平成17年 7月28日、 7月29日	27頁
自治研修所	平成17年 6月14日	28頁
兵庫県立大学	平成17年 7月 5日	28頁
健康生活部 県立健康環境科学研究センター	平成17年 7月 5日	29頁
県立総合衛生学院	平成17年 7月 6日	29頁
県立厚生専門学院	平成17年 7月11日	29頁
動物愛護センター	平成17年 6月13日	29頁
県立精神保健福祉センター	平成17年 7月 5日	29頁
西宮こども家庭センター	平成17年 7月 8日	29頁
県立女性家庭センター	平成17年 7月 6日	29頁
産業労働部 県立工業技術センター	平成17年 7月 5日	29頁
県立神戸高等技術専門学院	平成17年 6月14日	29頁
県立障害者高等技術専門学院	平成17年 7月 6日	30頁
兵庫障害者職業能力開発校	平成17年 7月14日	30頁

産業労働部	旅券事務所	平成17年 6月27日	30頁	
農林水産部	六甲治山事務所	平成17年 6月27日	30頁	
企業庁	猪名川広域水道事務所	平成17年 7月26日	31頁	
	北摂広域水道事務所	平成17年 7月26日	31頁	
	東播磨利水事務所	平成17年 7月19日	31頁	
	姫路利水事務所	平成17年 7月25日	31頁	
	阪神・淡路臨海建設事務所	平成17年 7月15日	31頁	
	情報公園都市建設事務所	平成17年 7月25日	31頁	
	播磨科学公園都市建設事務所	平成17年 7月19日	31頁	
	病院局	県立尼崎病院	平成17年 7月15日	32頁
		県立塚口病院	平成17年 7月15日	34頁
県立西宮病院		平成17年 7月25日	36頁	
県立加古川病院		平成17年 7月25日	38頁	
県立淡路病院		平成17年 7月15日	40頁	
県立光風病院		平成17年 7月25日	42頁	
県立柏原病院		平成17年 7月29日	44頁	
県立こども病院		平成17年 7月15日	46頁	
県立成人病センター		平成17年 7月19日	48頁	
県立姫路循環器病センター		平成17年 7月25日	50頁	
	県立粒子線医療センター	平成17年 7月19日	52頁	
教育委員会	阪神南教育事務所 外 6機関 東灘高等学校 外71校	平成17年 6月 6日、 6月13日、 6月14日、 6月23日、 6月27日、 6月28日、 7月 5日、 7月 6日、 7月 8日、 7月11日、 7月13日、 7月14日、 7月29日、 8月 1日、	54頁 ~ 59頁	
公安委員会	垂水警察署 外24署	平成17年 6月 6日、 6月23日、 6月28日、 7月 6日、 7月11日、 7月14日、 8月 1日	60頁 ~ 61頁	

イ 財政的援助団体等監査

監査の対象とした24団体の名称及び監査の実施期間等は、次表のとおりである。

実 施 団 体 名	監 査 実 施 期 間	監査結果
財団法人 21世紀ヒューマンケア研究機構	平成17年 8月22日	65頁
財団法人 丹波の森協会	平成17年 7月29日	67頁
財団法人 兵庫県青少年本部	平成17年 8月18日	68頁
財団法人 兵庫県芸術文化協会	平成17年 8月22日	70頁
財団法人 兵庫県職員互助会	平成17年 8月18日	71頁
財団法人 阪神・淡路大震災記念協会	平成17年 8月18日	72頁
日本赤十字社兵庫県支部	平成17年 7月19日	74頁
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団	平成17年 8月19日	75頁
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会	平成17年 8月22日	77頁
財団法人 ひょうご産業活性化センター	平成17年 8月22日	79頁
兵庫県信用保証協会	平成17年 8月19日	81頁
財団法人 兵庫県勤労福祉協会	平成17年 8月19日	83頁
財団法人 兵庫県国際交流協会	平成17年 8月22日	85頁
兵庫県土地改良事業団体連合会	平成17年 8月22日	87頁
社団法人 兵庫みどり公社	平成17年 8月19日	88頁
兵庫県土地開発公社	平成17年 8月18日	90頁
兵庫県道路公社	平成17年 8月18日	91頁
新西宮ヨットハーバー 株式会社	平成17年 8月19日	93頁
兵庫県住宅供給公社	平成17年 8月19日	95頁
財団法人 兵庫県園芸・公園協会	平成17年 8月18日	97頁
財団法人 阪神・淡路大震災復興基金	平成17年 8月18日	98頁
財団法人 兵庫県学校厚生会	平成17年 8月19日	100頁
財団法人 兵庫県体育協会	平成17年 8月18日	101頁
財団法人 兵庫県警察互助会	平成17年 8月19日	103頁

## (2) 指摘状況

## ア 定期監査

本庁及び地方機関等ごとの指摘項目数は、次表のとおりである。

機 関 名	収入	支出	財産	工事 事務	補助 事業	契約 事務	経営 成績	経理 処理	合計
本 庁									
企 業 庁	1		1					1	3
病 院 局	3	1					1		5
小計（2機関）	4	1	1				1	1	8
地方機関等									
神戸県民局	5	1	2		1				9
阪神南県民局	4	2	1						7
阪神北県民局	3	3	1	1					8
丹波県民局	2		2	1					5
自治研修所			1						1
兵庫県立大学		1							1
県立健康環境科学研究センター	2								2
西宮こどもセンター	1								1
県立神戸高等技術専門学院						1			1
猪名川広域水道事務所		1							1
県立尼崎病院	2					1	1	1	5
県立塚口病院	2						1		3
県立西宮病院	2	1					1	2	6
県立加古川病院	1	1					1	2	5
県立淡路病院	2						1	1	4
県立光風病院	1	1					1	1	4
県立柏原病院	1	1				1	1	2	6
県立こども病院	3						1	1	5
県立成人病センター	2						1	1	4
県立姫路循環器病センター	2	1					1	1	5
県立粒子線医療センター						1	1		2
阪神南教育事務所	1								1
阪神北教育事務所	1	2							3
丹波教育事務所	1								1
埋蔵文化財調査事務所		1							1
東灘高等学校	1								1
神戸高等学校		1							1
北須磨高等学校	1		1			1			3
兵庫工業高等学校	1								1
神戸工業高等学校	1								1

機 関 名	収入	支出	財産	工事 事務	補助 事業	契約 事務	経営 成績	経理 処理	合計
尼崎高等学校	1								1
神崎工業高等学校	1								1
西宮北高等学校	1								1
西宮甲山高等学校		1							1
西宮香風高等学校	1	1							2
川西緑台高等学校		1							1
猪名川高等学校		1							1
氷上高等学校		1							1
篠山産業高等学校	1	1							2
垂水警察署			1						1
神戸西警察署		1							1
有馬警察署		1							1
小計（42機関）	47	25	9	2	1	5	11	12	112
合計（44機関）	51	26	10	2	1	5	12	13	120

(注) 1 収入、支出誤りとして指摘した金額（収入未済額を除く。）は、35,437千円である。

2 前年度（9月報告分）にも指摘を受けている機関（32機関）に 印を付記した。

#### イ 財政的援助団体等監査

財政的援助団体等ごとの指摘項目数は、次表のとおりである。

団 体 名	収入	支出	経営 成績	経理 処理	その他	合計
(財)阪神・淡路大震災記念協会		1				1
日本赤十字社兵庫県支部		1				1
(社福)兵庫県社会福祉事業団	1	1		1		3
(社福)兵庫県社会福祉協議会	1					1
(財)ひょうご産業活性化センター	1	1				2
兵庫県信用保証協会				1	1	2
(財)兵庫県勤労福祉協会			1	1		2
新西宮ヨットハーバー(株)		1				1
兵庫県住宅供給公社	5					5
(財)兵庫県園芸・公園協会	1	1				2
(財)阪神・淡路大震災復興基金	1					1
合 計（11団体）	10	6	1	3	1	21

(注) 収入、支出誤りとして指摘した金額（収入未済額を除く。）は、4,072千円である。

### 3 監査結果の総括

今回の監査の結果、本庁及び地方機関等に対する指摘（財政的援助団体等を除く。）は、44機関、120項目で、機関数、項目数を前年度（9月報告分）と比較すると、機関数、項目数ともに減少（2機関、20項目）している。

指摘項目のうち約6割が収入、支出に関するものであり、これらの多くは経理事務の初歩的、基本的な誤りであることから、チェック体制の再点検を行うとともに、日々の事務処理に当たっては、形式に流されることなく、基本に忠実に、かつ適正な事務処理の確保に努められたい。

#### (1) 主な指摘事項について

「第2 本庁の監査結果」及び「第3 地方機関等の監査結果」に記載している指摘事項の主な内容は、次のとおりである。

##### ア 重点監査項目に関する指摘事項

###### (ア) 県立病院等の未収金について

平成16年度末現在における県立病院等の未収金（徴収不能引当金計上額及び過大計上額を除く。）は224,186,359円で、前年度の196,723,036円と比較すると27,463,323円増加（増加率14.0%）している。

###### (イ) 通勤手当の認定事務について

平成16年度から交通機関利用者に係る通勤手当は、その交通機関が発行する最も長期となる定期券の価格で認定、支給することとされているが、支給単位期間内で1か月以上の病気休暇を取得等すると見込まれる場合は、通勤手当の返納を行うべきであるにもかかわらず、これを行わなかったため、通勤手当が、1件、120,330円過大支給となっていた。

このほか、通勤手当の支給誤りが、28件、681,991円あった。

###### (ウ) 物件移転補償費について

物件移転補償の算定に当たっては、建物等の種類、構造、用途、経過年数等を総合的に判断して必要な費用を算定することとなるが、補償額の算定の際に、補償対象の工作物の新設工事費から撤去する既設工作物の資産価値の減少額を控除しなかったため、物件移転補償の設計が、1件、1,126,125円過大設計となっていた。

このほか、物件移転補償費の設計誤りが、1件、153,803円あった。

##### イ その他の指摘事項

###### (ア) 収税事務について

証券による納付委託は、その証券がおおむね6か月以内に支払期日の到来するものに限り、委託を受けることができるとされているにもかかわらず、滞納者から2年4か月以上先を支払期日とした約束手形を受領し、納付委託を行っていた。

(イ) 除却漏れについて

新規購入の場合を除き医療機器の更新時には、更新機器の取得と同時に既存機器を除却処分するケースが多くあるが、この場合には除却処分に伴う経理処理を行わなければならないにもかかわらず、これを行わなかったため、器械備品等が、20件、5,231,052円過大計上となっていた。

(ウ) 契約保証金について

契約金額が200万円を超える契約の締結に当たっては、契約金額の100分の10以上の契約保証金を納めさせなければならないが、契約金額を月額で規定した契約に係る契約保証金は、契約期間に対応した金額をもとに契約保証金の徴収等を行うべきであるにもかかわらず、契約金額（月額）に基づき加入した履行保証保険を受領したため、契約保証金等の不足しているものが、1件あった。

契約金額 (月額)	契約期間 (6か月)	契約保証金	
		正	誤
8,663,886円	平.16.10.1 ~17.3.31	5,198,332円 ( × ×10%)	866,389円 ( ×10%)

このほか、契約保証金の徴収等を行っていないものが、9件あった。

(2) 留意・改善を求める事項について

財務に関する事務の執行等に関連して、特に留意・改善を求める事項は、次のとおりである。

ア 自動車税に係る滞納整理の促進について

自動車税に関しては、平成14年度から徴収3か年計画を立て、滞納整理に努めてきたものの、平成16年度中に消滅時効が完成する自動車税の滞納者に対し、消滅時効が完成する6か月前までに現地調査等を行わず、滞納者の所在・財産がともに不明であるとの理由で執行停止、不納欠損処理しているものがあることから、早期に財産調査を徹底するなど、自動車税に係る滞納整理の促進を図られたい。

イ 県立病院の未収金の回収に向けた取り組みについて

県立病院の未収金は、年々増加し、多額となっている一方で、各病院の未収金の解消に向けた取組は総じて低調である。

保有資金（現預金残高）が減少傾向にあり、今後の資金需要等を勘案すると資金不足になることも予測されるなか、外来、退院時等における料金収納を確実に行うなど、その発生の防止に努めるとともに、未収金の早期徴収に向けた対応マニュアルの整備、研修会の開催等を行い、適切かつ効率的に債権管理を実施することにより、未収金の解消に取り組まれない。

ウ 土地造成事業に係る未売却土地の早期売却について

企業庁地域整備事業会計所管の土地造成事業に係る竣功済みの未売却土地は、平成16年度末現在で 2,465,233平方㍍あり、そのうち売却可能となってから10年以上経過しているものが 237,473平方㍍あるため、企業立地等の促進を図ることにより、未売却土地の早期売却に努められたい。

エ 施設監視等の目標設定について

生活（環境）衛生監視や介護施設の指導監査の実施数については、具体的かつ明確な数値目標を設定し、適時・的確な進行管理を徹底することにより、目標が達成できるよう取り組むとともに、その結果についても、評価、検証し、次年度の目標設定等に反映させるよう留意されたい。

オ 財政的援助団体等における適正な会計処理の推進について

県が基本財産の出資・出えん、補助金の交付、公の施設の管理委託料の支出等を行っている財政的援助団体等において、委託料の精算時に団体が収入していた雇用保険料の本人負担分に係る調整を漏らしたこと等のため、県からの委託料を過大収入しているものなど、会計事務の誤りが多数見受けられた。

所管部局においては、団体に対し、会計規程等の遵守や内部チェック機能の強化等の指導・支援を行うことにより、適正な会計処理の推進に配慮されたい。



## 第 2 本庁の監査結果



# 企 業 庁

## 1 土地の売却について

平成16年度末現在における竣功済みの未売却土地は、2,465,233平方 $\text{m}^2$ あり、そのうち売却可能となってから10年以上経過しているもの（自己使用中のもの等を除く。）が237,473平方 $\text{m}^2$ ある。

なお、播磨科学公園都市は平成9年8月のまちびらきから10年を経過していないものの、売却可能となってから相当の期間を経過し、未売却となっているものが453,093平方 $\text{m}^2$ ある。  
早期売却に努められたい。（地域整備事業会計）

## 2 前年度未収金について

平成16年度末現在における前年度未収金は、1件、3,339,500円である。

収入の促進になお一層努められたい。（地域整備事業会計）

## 3 経理事務について

企業債利息が、1件、791,388円過少計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。（工業用水道事業会計）

# 病 院 局

## 1 病院の利用状況について

平成16年度における病床利用率を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成16年度 病 床 数		平成16年度 1日平均 入院患者数	平成16年度 病 床 利 用 率		平成15年度 病 床 利 用 率	
	許可病床	稼働病床		許可病床	稼働病床	許可病床	稼働病床
尼 崎	500床	500床	469人	93.8%	93.8%	92.3%	92.3%
塚 口	400	365	301	75.3	82.5	76.4	83.5
西 宮	400	400	365	91.3	91.3	90.7	90.7
加 古 川	400	345	282	70.5	81.7	65.3	75.7
淡 路	452	452	406	89.9	89.9	88.4	88.4
光 風	495	495	352	71.2	71.2	72.8	72.8
柏 原	353	353	255	72.3	72.3	72.8	72.8
こ ども	290	260	232	79.9	89.1	82.0	91.4
成人病センター	400	400	367	91.6	91.6	89.4	89.4
姫路循環器病センター	350	350	267	76.2	76.2	76.1	76.1
計	4,040	3,920	3,296	81.6	84.1	80.9	83.4
粒子線医療センター	50	50	36	71.5	71.5	62.7	62.7
兵庫県災害医療センター	30	30	24	81.0	81.0	64.5	64.5
合 計	4,120	4,000	3,356	81.5	83.9	80.6	83.0

- (注) 1 塚口病院は平成16年7月1日から稼働病床数を366床から365床に減床している。  
 2 1日平均入院患者数は、年間延べ入院患者数を診療日数365日で除した数を四捨五入している。

稼働病床利用率は、83.9%で、前年度の83.0%と比較すると、0.9ポイント上昇している。  
 また、許可病床利用率は、81.5%となっている。

なお、許可病床数4,120床に対して稼働病床数は4,000床で、120床の差を生じているが、これは塚口等3病院において、医療の高度化等に伴い診療部門に転用等しているためである。

## 2 経営成績について

平成16年度における経営成績は、次表のとおりである。

区 分	金 額	区 分	金 額
県立病院事業	円	粒子線医療センター事業	円
医業収益?	66,900,376,436	医業収益?	1,021,687,860
医業費用?	77,122,662,882	医業費用?	2,046,379,951
医業損失 [A] (? - ?)	10,222,286,446	医業損失 [D] (? - ?)	1,024,692,091
医業外収益?	10,468,135,243	医業外収益?	691,055,585
医業外費用?	3,587,493,817	医業外費用?	582,267,861
経常損失 [B] (( [A]+? ) - ? )	3,341,645,020	経常損失 [E] (( [D]+? ) - ? )	915,904,367
特別利益?	335,120,131	特別利益?	551,458
特別損失?	333,614,863	特別損失?	281,724
〔純損失 [C] ( [B]+? ) - ? )〕	〔 3,340,139,752 〕	〔純損失 [F] ( [E]+? ) - ? )〕	〔 915,634,633 〕
		兵庫県災害医療センター事業	
		医業収益?	1,366,173,365
		医業費用?	1,660,360,516
		医業損失 [G] (? - ?)	294,187,151
		医業外収益?	420,279,943
		医業外費用?	132,642,911
		経常損失 [H] (( [G]+? ) - ? )	6,550,119
		特別損失?	10,517,950
		〔純損失 [I] ( [H]+? ) 〕	〔 17,068,069 〕
		附帯事業	
		附帯事業収益?	409,370,390
		附帯事業費用?	407,909,403
		当年度純損失 [J] (( [C]+[F]+[I]+? ) - ? ) (前年度純損失)	4,271,381,467 (3,287,786,119)
		前年度繰越欠損金 [K]	56,743,622,371
		当年度未処理欠損金 ( [J] + [K] )	61,015,003,838

当年度の純損失は、4,271,381,467円となっており、前年度の3,287,786,119円と比較して、983,595,348円増加している。

この結果、未処理欠損金は、61,015,003,838円となっている。

経営成績の向上になお一層配意されたい。

### 3 未収金について

(1) 平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、24件、2,669,634円である。

収入の促進に努められたい。

(2) 平成16年度末現在における各病院の未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、3,342件、221,516,725円（徴収不能引当金計上額及び過大計上額を除く。）である。

収入の促進を指導されたい。

### 4 経理事務について

(1) その他医業外収益（行政財産の使用許可に伴う光熱水費）が、1件、13,873円過少徴収となっていた。

(2) 委託料（管理運営委託）が、1件、192,508円過大支出となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

### 第 3 地方機関等の監査結果





## 県民政策部関係

県立神戸生活創造センター

県立生活科学研究所

県立男女共同参画センター

事務処理は、おおむね適正と認められた。

## 企画管理部関係

神戸県民局

企画県民部

事務処理は、おおむね適正と認められた。

県 税 部

1 県税の調定及び徴収状況について (神戸県税事務所、灘県税事務所、兵庫県税事務所、西神戸県税事務所)

平成16年度(17年4月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

税目	区分	調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の同割合
		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	35,228,884,165	31,694,361,223	181,823,298	3,352,699,644	90.0	87.8
	法人	12,500,502,430	12,273,156,281	15,561,376	211,784,773	98.2	97.6
	利子割	11,302,414,353	11,302,414,353	0	0	100.0	100.0
事業税	個人	2,874,861,189	2,394,039,585	45,780,435	435,041,169	83.3	82.2
	法人	63,194,305,048	62,306,922,882	26,394,379	860,987,787	98.6	98.2
地方消費税		94,280,411,592	94,280,411,592	0	0	100.0	100.0
不動産取得税		9,057,263,653	6,464,168,085	72,737,896	(1,085,597,160) 2,520,357,672	71.4	71.4
県たばこ税		11,178,992,027	11,178,992,027	0	0	100.0	100.0
ゴルフ場利用税		800,385,400	793,196,400	0	7,189,000	99.1	99.3
自動車税		19,666,591,449	18,511,603,987	85,930,349	1,069,057,113	94.1	94.3
自動車取得税		13,221,318,400	13,221,318,400	0	0	100.0	100.0
軽油引取税		13,354,246,235	12,024,693,403	58,927,895	(156,096,493) 1,270,624,937	90.0	90.7
狩猟税		22,643,500	22,643,500	0	0	100.0	-
旧法による税		77,634,756	6,253,326	13,030,979	58,350,451	8.1	5.5
合計		286,760,454,197	276,474,175,044	500,186,607	(1,241,693,653) 9,786,092,546	96.4	95.9

- (注) 1 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を( )内書きした。  
2 料理飲食等消費税及び特別地方消費税を旧法による税として一括記載した。

徴収割合は、96.4%となっており、前年度同期と比較して0.5ポイント上昇している。

2 収税事務について ( 神戸県税事務所、灘県税事務所、兵庫県税事務所、  
西神戸県税事務所 )

(1) 平成16年度(17年4月末現在)における200万円以上の県税高額滞納は、前年度同期と比較すると、人数、滞納額はいずれも減少しているものの、その人数は153人、総額は2,336,408,576円である。

収入の促進に引き続き努められたい。

(2) 換価猶予の決定に当たり、様式に不備のある保証人設定届を担保として受領しているものが、不動産取得税で、1件あった。

事務処理に当たり注意されたい。

(3) 裁判所に対し交付要求をせず、かつ、預金について差押等の滞納手続を進めていないものが、自動車税で、1件、79,000円あった。

事務処理に当たり注意されたい。

(4) 法令の趣旨に反した長期の証券による納付委託を受領しているものが、不動産取得税で、1件、1,087,900円あった。

事務処理に当たり注意されたい。

## 地域振興部

### 補助事業について(神戸農林水産振興事務所)

ひょうご型市民農園整備事業の設計が、1件、810,600円過大設計となっていた。

審査に当たり注意するとともに指導されたい。

## 県土整備部

### 1 経理事務について(神戸土木事務所)

時間外勤務手当が、4件、10,264円支給漏れとなっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

### 2 管理事務について(神戸土木事務所)

平成17年3月末現在において当所が把握している廃川敷地の無断使用は、3件、2,790平方メートルである。

無断使用の解消に引き続き努められたい。

3 占・使用許可事務について(神戸土木事務所)

(1) 平成16年3月に許可期間が満了した河川占用のうち、17年3月末現在許可更新手続未了のものが3件ある。

早期に措置されたい。

(2) 河川占用料等が、2件、18,970円過少徴収となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

阪神南県民局

企画調整部

1 県税の調定及び徴収状況について（尼崎県税事務所、西宮県税事務所）

平成16年度(17年4月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

税目	区分	調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の同割合
		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	24,226,740,902	20,613,437,647	256,618,686	3,356,684,569	85.1	85.0
	法人	4,222,641,841	3,769,394,367	3,763,710	449,483,764	89.3	97.0
税	利子割	317,545,855	317,545,855	0	0	100.0	100.0
事業税	個人	2,431,542,446	2,080,625,492	22,370,985	328,545,969	85.6	85.5
	法人	20,876,787,075	18,294,606,592	28,891,047	2,553,289,436	87.6	97.3
不動産取得税		6,706,998,276	4,333,897,192	75,689,308	(1,113,823,700) 2,297,411,776	64.6	63.4
ゴルフ場利用税		259,479,447	248,096,300	0	11,383,147	95.6	96.0
自動車税		10,475,059,341	9,676,258,912	53,076,915	745,723,514	92.4	93.0
軽油引取税		6,566,216,536	5,873,782,959	0	(322,375,898) 692,433,577	89.5	79.6
狩猟税		4,664,000	4,664,000	0	0	100.0	-
旧法による税		6,244,246	115,224	3,542,632	2,586,390	1.8	3.1
合計		76,093,919,965	65,212,424,540	443,953,283	(1,436,199,598) 10,437,542,142	85.7	86.9

(注) 1 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を( )内書きした。

2 料理飲食等消費税及び特別地方消費税を旧法による税として一括記載した。

徴収割合は、85.7%となっており、前年度同期と比較して1.2ポイント低下している。

2 収税事務について（尼崎県税事務所、西宮県税事務所）

(1) 平成16年度(17年4月末現在)における200万円以上の県税高額滞納は、前年度同期と比較すると、人数、滞納額はいずれも増加しており、その人数は136人、総額は1,460,394,508円である。

収入の促進になお一層努められたい。

(2) 不動産取得税の不納欠損決定の誤りが、1件、316,400円あった。  
事務処理に当たり注意されたい。

- (3) 滞納者に対し換価猶予の通知をしていないものが、1件あった。  
事務処理に当たり注意されたい。

3 経理事務について（総務担当）

通勤手当等が、5件、235,540円過大支給、1件、120,330円過少支給、3件、63,420円支給漏れとなっていた。

前年度に引き続き給与関係の支給誤りが生じており、事務処理に当たりなお一層注意されたい。

県民生活部

経理事務について（芦屋健康福祉事務所）

報酬が、1件、12,500円過大支給となっていた。  
事務処理に当たり注意されたい。

地域振興部

事務処理は、おおむね適正と認められた。

県土整備部

1 収入の促進について（西宮土木事務所、尼崎港管理事務所）

平成16年度（17年4月末現在）における港湾施設使用料等の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は129件、総額は133,412,115円で、うち滞納繰越分は、54件、71,045,602円である。

収入の促進になお一層努められたい。

2 管理事務について（西宮土木事務所）

平成17年3月末現在において当所が把握している廃川敷地の無断使用は、2件、311平方メートルである。

無断使用の解消になお一層努められたい。

阪神北県民局

企画調整部

1 県税の調定及び徴収状況について（伊丹県税事務所）

平成16年度(17年4月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

区分		調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の同割合
税目		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	15,273,763,553	13,468,331,057	70,598,458	1,734,834,038	88.2	88.4
	法人	1,828,864,153	1,802,924,557	1,175,194	24,764,402	98.6	98.4
税事業税	利子割	175,754,008	175,754,008	0	0	100.0	100.0
	個人	1,132,121,069	967,526,665	9,192,737	155,401,667	85.5	84.9
	法人	8,679,368,798	8,613,500,159	1,202,600	64,666,039	99.2	99.0
不動産取得税		3,244,612,900	2,064,556,184	13,060,725	(634,057,340) 1,166,995,991	63.6	62.1
ゴルフ場利用税		981,712,076	956,217,376	0	25,494,700	97.4	100.0
自動車税		8,081,277,998	7,650,863,156	35,125,880	395,288,962	94.7	94.7
鉱区税		26,200	26,200	0	0	100.0	100.0
軽油引取税		3,559,048,513	3,497,071,562	0	(34,220,638) 61,976,951	98.3	97.3
狩猟税		5,472,500	5,472,500	0	0	100.0	-
旧法による税		467,375	100,000	32,859	334,516	21.4	5.5
合計		42,962,489,143	39,202,343,424	130,388,453	(668,277,978) 3,629,757,266	91.2	90.5

(注) 1 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を( )内書きした。  
2 特別地方消費税を旧法による税として記載した。

徴収割合は、91.2%となっており、前年度同期と比較して0.7ポイント上昇している。

2 収税事務について（伊丹県税事務所）

平成16年度(17年4月末現在)における200万円以上の県税高額滞納は、前年度同期と比較すると、人数、滞納額はいずれも減少しているものの、その人数は48人、総額は280,512,092円である。

収入の促進に引き続き努められたい。

3 経理事務について（総務担当）

報償費(謝金)等の支出において、3か月から6か月以上遅れているものが、5件、78,480円あった。

事務処理に当たり注意されたい。

県民生活部

経理事務について（総務調整担当）

期末手当等が、2件、328,062円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

地域振興部

事務処理は、おおむね適正と認められた。

県土整備部

1 収入の促進について（宝塚土木事務所、三田土木事務所）

平成16年度（17年4月末現在）における雑入（道路損傷行為にかかる費用負担金）等の収入未済額は、17件、3,042,880円で、うち滞納繰越分は、9件、288,395円である。

収入の促進に努められたい。

2 経理事務について（宝塚土木事務所、三田土木事務所）

(1) 平成15年度に誤徴収した道路占用料、1件、17,850円が還付されていなかった。

(2) 河川改修工事に伴う河川改良事業受託費収入、3件、20,475,860円の調定の処理日が、4か月から6か月以上遅れ、平成17年4月26日となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

3 占・使用許可事務について（三田土木事務所）

平成16年3月に許可期間が満了した河川占用等のうち、17年3月末現在許可更新手続未了のものが49件ある。

早期に措置されたい。

4 工事関係事務について（宝塚土木事務所）

電線共同溝工事の設計が、1件、265,650円過少設計となっていた。

設計に当たり注意されたい。



丹波県民局

企画調整部

1 県税の調定及び徴収状況について（柏原県税事務所）

平成16年度(17年4月末現在)における県税の調定及び徴収状況は、次表のとおりである。

区分		調定額	徴収額	不納欠損額	徴収未済額	徴収割合	前年度同期の割合
税目		円	円	円	円	%	%
県民税	個人	1,491,679,456	1,339,683,556	5,310,276	146,685,624	89.8	89.6
	法人	300,246,096	295,749,706	826,600	3,669,790	98.5	98.9
税	利子割	26,491,024	26,491,024	0	0	100.0	100.0
事業税	個人	114,775,232	99,266,607	1,527,609	13,981,016	86.5	90.4
	法人	1,192,160,625	1,183,978,400	3,572,725	4,609,500	99.3	99.4
不動産取得税		325,750,418	297,604,517	422,855	(3,111,720) 27,723,046	91.4	91.0
ゴルフ場利用税		311,954,300	300,772,600	0	11,181,700	96.4	96.5
自動車税		1,653,667,476	1,574,911,374	3,396,255	75,359,847	95.2	96.0
鉱区税		372,000	372,000	0	0	100.0	100.0
軽油引取税		167,029,073	165,829,073	0	(1,200,000) 1,200,000	99.3	98.7
狩猟税		4,620,000	4,620,000	0	0	100.0	-
旧法による税		85,000	85,000	0	0	100.0	80.9
合計		5,588,830,700	5,289,363,857	15,056,320	(4,311,720) 284,410,523	94.6	94.8

(注) 1 徴収未済額欄に法定徴収猶予分を( )内書きした。

2 特別地方消費税を旧法による税として記載した。

徴収割合は、94.6%となっており、前年度同期と比較して0.2ポイント低下している。

2 収税事務について（柏原県税事務所）

平成16年度(17年4月末現在)における200万円以上の県税高額滞納は、前年度同期と比較すると、人数、滞納額はいずれも減少しているものの、その人数は1人、その額は11,181,700円である。

収入の促進に引き続き努められたい。

3 経理事務について（総務担当）

歳入として収入すべき敷金返還金を、歳出戻入としているものが、1件、50,000円あった。  
事務処理に当たり注意されたい。

4 物品の損傷について（総務担当）

平成17年2月23日に衝突事故により、公用車1台を損傷していた。  
事故防止に配慮するとともに、物品の管理に留意されたい。

県民生活部

事務処理は、おおむね適正と認められた。

地域振興部

事務処理は、おおむね適正と認められた。

県土整備部

1 占・使用許可事務について（柏原土木事務所）

平成16年3月に許可期間が満了した河川占用等のうち、17年3月末現在許可更新手続き未了のものが17件ある。

早期に措置されたい。

2 工事関係事務について（柏原土木事務所）

緊急道路整備事業等に伴う物件移転補償の設計が、2件、1,279,928円過大設計となっていた。

設計に当たり注意されたい。

自治研修所

管理事務について

当所が管理している敷地に、使用許可のない通信線等を共架されている電力柱が、2本あった。

財産の管理に当たり注意されたい。

兵庫県立大学

経理事務について

住居手当等が、6件、110,298円過大支給、2件、11,533円過少支給となっていた。

前年度に引き続き給与関係の支給誤りが生じており、事務処理に当たりなお一層注意されたい。

## 健康生活部関係

### 県立健康環境科学研究センター

#### 経理事務について

(1) 行政財産の使用許可に伴う財産使用料等、4件、1,745,523円の調定が、3か月から11か月以上遅れ、平成16年7月28日から17年3月4日となっていた。

(2) 雑入（行政財産の使用許可に伴う光熱水費）が、1件、70,158円過大徴収となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

### 県立総合衛生学院

### 県立厚生専門学院

### 動物愛護センター

### 県立精神保健福祉センター

事務処理は、おおむね適正と認められた。

### 西宮こども家庭センター

#### 収入の促進について

平成16年度(17年4月末現在)における障害児福祉施設弁償金等の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は1,107件、総額は26,465,372円で、うち滞納繰越分は、743件、18,460,579円である。

収入の促進になお一層努められたい。

### 県立女性家庭センター

事務処理は、おおむね適正と認められた。

## 産業労働部関係

### 県立工業技術センター

事務処理は、おおむね適正と認められた。

### 県立神戸高等技術専門学院

#### 契約事務について

訓練委託等に係る契約で、契約保証金の徴収等をしていないものが、5件あった。

適正に契約事務を執行されたい。

県立障害者高等技術専門学院  
兵庫障害者職業能力開発校  
旅券事務所

事務処理は、おおむね適正と認められた。

## 農林水産部関係

六甲治山事務所

事務処理は、おおむね適正と認められた。

## 企 業 庁 関 係

猪名川広域水道事務所

経理事務について

児童手当が、2件、100,000円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

北摂広域水道事務所

東播磨利水事務所

姫路利水事務所

阪神・淡路臨海建設事務所

情報公園都市建設事務所

播磨科学公園都市建設事務所

事務処理は、おおむね適正と認められた。

# 病 院 局 関 係

## 県立尼崎病院

### 1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許 可	稼 働	許 可	稼 働
					病 床	病 床	病 床	病 床
平成 16 年度	人 318,926	人 1,312	人 171,262	人 469	床 500	床 500	% 93.8	% 93.8
平成 15 年度	350,586	1,425	168,880	461	500	500	92.3	92.3
差引増減( )	31,660	113	2,382	8	0	0	1.5	1.5

なお、附帯事業として東洋医学研究所において、生薬材料の研究等を行うとともに同附属診療所において、診療を次表のとおり行っている。

区 分	診 療 別 延 べ 人 員		
	鍼 灸	漢 方	計
東洋医学研究所附属診療所	10,640人	1,617人	12,257人

### 2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対する割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円 10,073,146,220	% 100.0	円 10,379,554,691	% 100.0	% 97.0
医 業 費 用 B	10,775,099,189	107.0	10,893,571,925	105.0	98.9
(Bのうち給与費)	(5,853,530,178)	(58.1)	(5,930,092,346)	(57.1)	(98.7)
(Bのうち材料費)	(3,133,810,275)	(31.1)	(3,140,182,075)	(30.3)	(99.8)
医 業 損 失 X (B - A)	701,952,969	7.0	514,017,234	5.0	136.6
医 業 外 収 益 $\Delta$	998,914,369	9.9	1,131,388,554	10.9	88.3
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(897,345,000)	(8.9)	(1,042,550,000)	(10.0)	(86.1)
医 業 外 費 用 E	569,637,188	5.6	591,906,307	5.7	96.2
経 常 損 失 $\Phi$ ( $(X + E) - \Delta$ )	272,675,788	2.7	25,465,013	0.2	-

特 別 利 益 Γ	100,100,750	1.0	5,399,198	0.1	1,854.0
特 別 損 失 H	95,634,505	1.0	6,776,560	0.1	1,411.3
附 帯 事 業 収 益 I	129,736,975	1.3	113,340,244	1.1	114.5
( I のうち一般会計 からの負担金 )	(92,307,000)	(0.9)	(72,241,000)	(0.7)	(127.8)
附 帯 事 業 費 用 ϑ	129,958,786	1.3	111,627,913	1.1	116.4
当 年 度 純 損 失 K ( (Φ + H + ϑ) - (Γ + I) )	268,431,354	2.7	25,799,982	0.2	-
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 Λ	121,414,701	-	95,614,719	-	127.0
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 K - Λ	147,016,653	-	121,414,701	-	-

当年度の純損失は、268,431,354円となっており、この結果、未処理欠損金は、147,016,653円となっている。

経営成績の向上に努力されたい。

### 3 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、1,137件、41,009,260円（徴収不能引当金計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

### 4 経理事務について

(1) その他医業外収益（行政財産の使用許可に伴う光熱水費）が、1件、51,148円過少徴収となっていた。

(2) 有形固定資産（建物）が、1件、1,146,224円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

### 5 契約事務について

保守業務委託に係る契約で、契約書の作成及び契約保証金の徴収等をしていないものが、1件あった。

適正に契約事務を執行されたい。

県立塚口病院

1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 16 年度	人 204,251	人 841	人 109,924	人 301	床 400	床 365	% 75.3	% 82.5
平成 15 年度	215,032	874	111,845	306	400	366	76.4	83.5
差引増減( )	10,781	33	1,921	5	0	1	1.1	1.0

(注)平成16年7月1日から稼働病床数を366床から365床に減床している。

2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対する割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円 5,029,640,418	% 100.0	円 5,178,643,621	% 100.0	% 97.1
医 業 費 用 B	5,868,546,768	116.7	5,815,750,992	112.3	100.9
(Bのうち給与費)	(3,614,377,797)	(71.9)	(3,474,809,889)	(67.1)	104.0
(Bのうち材料費)	(1,180,177,892)	(23.5)	(1,227,236,382)	(23.7)	96.2
医 業 損 失 X (B - A)	838,906,350	16.7	637,107,371	12.3	131.7
医 業 外 収 益 $\Delta$	364,313,720	7.3	426,592,530	8.2	85.4
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(307,846,000)	(6.1)	(371,308,000)	(7.2)	82.9
医 業 外 費 用 E	138,670,478	2.8	148,043,960	2.8	93.7
経 常 損 失 $\Phi$ ((X + E) - $\Delta$ )	613,263,108	12.2	358,558,801	6.9	171.0
特 別 利 益 $\Gamma$	162,617,851	3.2	5,343,493	0.1	3,043.3
特 別 損 失 H	159,259,070	3.1	11,154,292	0.2	1,427.8
当 年 度 純 損 失 I ( $(\Phi + H) - \Gamma$ )	609,904,327	12.1	364,369,600	7.0	167.4
前年度繰越利益剰余金 $\vartheta$	125,788,605	-	490,158,205	-	25.7
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 I - $\vartheta$	484,115,722	-	125,788,605	-	-



当年度の純損失は、609,904,327円となっており、前年度の364,369,600円と比較して、245,534,727円増加している。

この結果、未処理欠損金は、484,115,722円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

### 3 診療報酬請求事務について

診療報酬の請求が、1件、17,940円過少請求となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

### 4 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、447件、29,627,365円（徴収不能引当金計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

県立西宮病院

1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
16	260,290	1,071	133,291	365	400	400	91.3	91.3
15	263,332	1,070	132,717	363	400	400	90.7	90.7
差引増減( )	3,042	1	574	2	0	0	0.6	0.6

2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対し割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円	%	円	%	%
	8,065,035,932	100.0	7,803,779,763	100.0	103.3
医 業 費 用 B	8,677,323,994	107.6	8,536,316,144	109.4	101.7
(Bのうち給与費)	(4,464,652,481)	(55.4)	(4,470,353,452)	(57.3)	(99.9)
(Bのうち材料費)	(2,669,021,235)	(33.1)	(2,553,658,473)	(32.7)	(104.5)
医 業 損 失 X (B - A)	612,288,062	7.6	732,536,381	9.4	83.6
医 業 外 収 益 $\Delta$	903,119,883	11.2	989,333,080	12.7	91.3
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	( 841,927,000)	(10.4)	( 943,752,000)	(12.1)	( 89.2)
医 業 外 費 用 E	607,487,501	7.5	615,781,112	7.9	98.7
経 常 損 失 $\Phi$ ((X + E) - $\Delta$ )	316,655,680	3.9	358,984,413	4.6	88.2
特 別 利 益 $\Gamma$	315,857	0.0	5,605,458	0.1	5.6
特 別 損 失 H	3,788,211	0.1	5,731,889	0.1	66.1
当 年 度 純 損 失 I (( $\Phi$ + H) - $\Gamma$ )	320,128,034	4.0	359,110,844	4.6	89.1
前 年 度 繰 越 欠 損 金 $\vartheta$	11,413,007,054	-	11,053,896,210	-	103.2
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 I + $\vartheta$	11,733,135,088	-	11,413,007,054	-	102.8

当年度の純損失は、320,128,034円となっており、前年度の359,110,844円と比較して、38,982,810円減少している。

この結果、未処理欠損金は11,733,135,088円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

### 3 未収金について

平成16年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、471件、21,634,228円(徴収不能引当金計上額及び過大計上額を除く。)である。

収入の促進に努められたい。

### 4 経理事務について

- (1) その他医業外収益(行政財産の使用許可に伴う光熱水費)が、6件、187,425円過少徴収となっていた。
- (2) 通勤手当等が、5件、70,408円過大支給、7件、165,639円過少支給となっていた。
- (3) 減価償却費が、2件、188,010円過大計上、1件、120,357円過少計上となっていた。
- (4) 医業未収金が、2件、909,264円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち、給与関係の支給誤りは、前年度に引き続く事務処理誤りである。

県立加古川病院

1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
16	163,190	672	102,871	282	400	345	70.5	81.7
15	176,141	716	95,573	261	400	345	65.3	75.7
差引増減( )	12,951	44	7,298	21	0	0	5.2	6.0

2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対し割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円	%	円	%	%
	4,527,529,452	100.0	4,845,709,662	100.0	93.4
医 業 費 用 B	5,458,052,205	120.6	5,683,992,802	117.3	96.0
(Bのうち給与費)	(3,585,794,123)	(79.2)	(3,530,849,734)	(72.9)	101.6
(Bのうち材料費)	(1,040,228,339)	(23.0)	(1,395,239,546)	(28.8)	74.6
医 業 損 失 X (B - A)	930,522,753	20.6	838,283,140	17.3	111.0
医 業 外 収 益 $\Delta$	306,213,642	6.8	367,784,068	7.6	83.3
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(291,695,000)	(6.4)	(353,272,000)	(7.3)	82.6
医 業 外 費 用 E	133,163,295	2.9	146,796,203	3.0	90.7
経 常 損 失 $\Phi$ ((X + E) - $\Delta$ )	757,472,406	16.7	617,295,275	12.7	122.7
特 別 利 益 $\Gamma$	2,253,988	0.0	3,085,149	0.1	73.1
特 別 損 失 H	248,840	0.0	2,485,708	0.1	10.0
当 年 度 純 損 失 I (( $\Phi$ + H) - $\Gamma$ )	755,467,258	16.7	616,695,834	12.7	122.5
前 年 度 繰 越 欠 損 金 $\vartheta$	8,146,487,630	-	7,529,791,796	-	108.2
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 I + $\vartheta$	8,901,954,888	-	8,146,487,630	-	109.3

当年度の純損失は、755,467,258円となっており、前年度の616,695,834円と比較して、138,771,424円増加している。

この結果、未処理欠損金は、8,901,954,888円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

### 3 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、319件、18,766,007円（徴収不能引当金計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

### 4 経理事務について

(1) 通勤手当が、1件、11,380円過大支給となっていた。

(2) 減価償却費が、1件、144,891円過少計上となっていた。

(3) 医業外未収金が、2件、13,520円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち、給与関係の支給誤り及び減価償却費の計上誤りは、前年度に引き続く事務処理誤りである。

県立淡路病院

1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	(0)人	人	( 4)床	( 4)床	(0)%	(0)%
16	228,397	940	148,303	406	452	452	89.9	89.9
15	235,835	959	146,323	400	452	452	88.4	88.4
差引増減( )	7,438	19	(0) 1,980	6	( 0) 0	( 0) 0	(0) 1.5	(0) 1.5

(注)感染症病床に係るものを( )内書きした。

なお、附帯事業として淡路看護専門学校において、看護師養成事業を次表のとおり行っている。

区 分	学 生 数	
	定 員	現 員
淡路看護専門学校	1 2 0人	1 1 4人

2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成 1 6 年度		平成 1 5 年度		前年度に 対する割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円 8,115,503,655	% 100.0	円 8,005,135,981	% 100.0	% 101.4
医 業 費 用 B	9,366,013,777	115.4	9,580,148,757	119.7	97.8
(Bのうち給与費)	(5,849,747,588)	(72.1)	(6,024,267,761)	(75.3)	(97.1)
(Bのうち材料費)	(2,252,959,856)	(27.8)	(2,313,775,768)	(28.9)	(97.4)
医 業 損 失 X (B - A)	1,250,510,122	15.4	1,575,012,776	19.7	79.4
医 業 外 収 益 $\Delta$	1,264,327,260	15.6	1,339,678,902	16.7	94.4
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(1,135,389,000)	(14.0)	(1,252,199,000)	(15.6)	(90.7)
医 業 外 費 用 E	301,706,153	3.7	316,491,618	3.9	95.3
経 常 損 失 $\Phi$ ( $(X + E) - \Delta$ )	287,889,015	3.5	551,825,492	6.9	52.2

特 別 利 益 $\Gamma$	44,661,795	0.6	28,638,638	0.4	155.9
特 別 損 失 $H$	44,925,469	0.6	1,724,281	0.0	2,605.5
附 帯 事 業 収 益 $I$	125,946,818	1.6	159,487,667	2.0	79.0
( $I$ のうち一般会計 からの負担金)	(113,174,000)	(1.4)	(147,416,000)	(1.8)	(76.8)
附 帯 事 業 費 用 $\vartheta$	125,886,398	1.6	158,760,502	2.0	79.3
当 年 度 純 損 失 $K$ ( $(\Phi+H+\vartheta) - (\Gamma+I)$ )	288,092,269	3.5	524,183,970	6.5	55.0
前 年 度 繰 越 欠 損 金 $\Lambda$	4,201,517,356	-	3,677,333,386	-	114.3
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 $K + \Lambda$	4,489,609,625	-	4,201,517,356	-	106.9

当年度の純損失は、288,092,269円となっており、前年度の524,183,970円と比較して、236,091,701円減少している。

この結果、未処理欠損金は4,489,609,625円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

### 3 診療報酬請求事務について

診療報酬の請求が、3件、212,000円過少請求となっていた。

前年度に引き続き診療報酬の請求誤りが生じており、事務処理に当たりなお一層注意されたい。

### 4 未収金について

平成16年度末現在における未収金(現年度の診療報酬等を除く。)は、240件、33,482,985円(徴収不能引当金計上額を除く。)である。

収入の促進に努められたい。

### 5 経理事務について

有形固定資産(器械備品)が、3件、1,047,500円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立光風病院

1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
16	40,537	167	128,611	352	495	495	71.2	71.2
15	40,477	165	131,828	360	495	495	72.8	72.8
差引増減( )	60	2	3,217	8	0	0	1.6	1.6

2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対し割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円	%	円	%	%
	2,155,406,945	100.0	2,183,048,262	100.0	98.7
医 業 費 用 B					
	3,636,631,177	168.7	3,852,995,079	176.5	94.4
(Bのうち給与費)	(2,751,193,472)	(127.6)	(2,941,916,112)	(134.8)	93.5
(Bのうち材料費)	(359,723,567)	( 16.7)	(359,153,736)	( 16.5)	100.2
医 業 損 失 X (B - A)	1,481,224,232	68.7	1,669,946,817	76.5	88.7
医 業 外 収 益 $\Delta$	1,528,761,675	70.9	1,583,196,935	72.5	96.6
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(1,508,140,000)	( 70.0)	(1,561,903,000)	( 71.5)	96.6
医 業 外 費 用 E	293,870,158	13.6	307,742,145	14.1	95.5
経 常 損 失 $\Phi$ ((X + E) - $\Delta$ )	246,332,715	11.4	394,492,027	18.1	62.4
特 別 利 益 $\Gamma$	1,884,828	0.1	27,172,317	1.3	6.9
特 別 損 失 H	565,070	0.1	79,828	0.0	707.9
当 年 度 純 損 失 I (( $\Phi$ + H) - $\Gamma$ )	245,012,957	11.4	367,399,538	16.8	66.7
前 年 度 繰 越 欠 損 金 $\vartheta$	8,334,533,887	-	7,967,134,349	-	104.6
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 I + $\vartheta$	8,579,546,844	-	8,334,533,887	-	102.9



当年度の純損失は、245,012,957円となっており、前年度の367,399,538円と比較して、122,386,581円減少している。

この結果、未処理欠損金は、8,579,546,844円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

### 3 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、62件、7,230,170円（徴収不能引当金計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

### 4 経理事務について

(1) 勤勉手当等が、1件、106,561円過大支給、5件、42,945円過少支給となっていた。

(2) 減価償却費が、3件、101,370円過少計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち、給与関係の支給誤りは、前年度に引き続く事務処理誤りである。

県立柏原病院

1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者					
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	病 床 数		病 床 利 用 率	
					許 可 病床	稼働 病床	許 可 病床	稼働 病床
平成 年度 16	人 146,980	人 605	人 93,187	人 255	床 353	床 353	% 72.3	% 72.3
15	157,482	640	93,998	257	353	353	72.8	72.8
差引増減( )	10,502	35	811	2	0	0	0.5	0.5

なお、附帯事業として柏原看護専門学校において、看護師養成事業を行うとともに東洋医学研究所附属柏原鍼灸院において、鍼及び灸の施術を次表のとおり行っている。

区 分	学 生 数	
	定 員	現 員
柏原看護専門学校	120 人	113 人

区 分	診療延べ人員
東洋医学研究所 附属柏原鍼灸院	350 人

2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平成16年度		平成15年度		前年度に 対する割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円 4,617,732,171	% 100.0	円 4,799,375,165	% 100.0	% 96.2
医 業 費 用 B	5,581,920,778	120.9	5,692,971,769	118.6	98.0
(Bのうち給与費)	(3,685,331,259)	(79.8)	(3,672,413,927)	(76.5)	(100.4)
(Bのうち材料費)	(1,095,043,072)	(23.7)	(1,174,937,088)	(24.5)	(93.2)
医 業 損 失 X (B - A)	964,188,607	20.9	893,596,604	18.6	107.9
医 業 外 収 益 $\Delta$	737,142,152	16.0	824,357,351	17.2	89.4
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(685,254,000)	(14.8)	(783,462,000)	(16.3)	(87.5)

医 業 外 費 用 E	230,909,966	5.0	252,745,308	5.3	91.4
経 常 損 失 Φ ( (X + E) - Δ )	457,956,421	9.9	321,984,561	6.7	142.2
特 別 利 益 Γ	27,153	0.0	11,677,617	0.2	0.2
特 別 損 失 H	2,876,189	0.0	7,383,944	0.1	39.0
附 帯 事 業 収 益 I	153,686,597	3.3	154,976,056	3.2	99.2
( I のうち一般会計 からの負担金 )	(127,401,000)	(2.8)	(130,857,000)	(2.7)	( 97.4)
附 帯 事 業 費 用 ϑ	152,064,219	3.3	153,181,234	3.2	99.3
当 年 度 純 損 失 K ( (Φ + H + ϑ) - (Γ + I) )	459,183,079	9.9	315,896,066	6.6	145.4
前 年 度 繰 越 欠 損 金 Λ	3,260,844,881	-	2,944,948,815	-	110.7
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 K + Λ	3,720,027,960	-	3,260,844,881	-	114.1

当年度の純損失は、459,183,079円となっており、前年度の315,896,066円と比較して、143,287,013円増加している。

この結果、未処理欠損金は3,720,027,960円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

### 3 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、225件、9,847,174円（徴収不能引当金計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

### 4 経理事務について

(1) 宿日直手当等が、11件、202,000円過大支給、12件、186,000円過少支給となっていた。

(2) 減価償却費が、1件、141,930円過大計上、1件、56,014円過少計上となっていた。

(3) 有形固定資産（器械備品等）が、16件、3,037,328円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち、給与関係の支給誤りは、前年度に引き続く事務処理誤りである。

### 5 契約事務について

業務委託に係る契約で、契約保証金等の不足しているものが、1件あった。

適正に契約事務を執行されたい。

県立こども病院

1 利用状況について

平成16年度における当病院の利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許 可	稼働	許 可	稼働
					病 床	病 床	病 床	病 床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
16	85,089	350	84,578	232	290	260	79.9	89.1
15	85,920	349	87,001	238	290	260	82.0	91.4
差引増減( )	831	1	2,423	6	0	0	2.1	2.3

2 経営成績について

平成16年度における当病院の経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対し割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円	%	円	%	%
	6,119,766,387	100.0	5,910,207,045	100.0	103.5
医 業 費 用 B					
	8,006,709,076	130.8	7,945,968,854	134.4	100.8
(Bのうち給与費)	(4,939,572,015)	(80.7)	(4,991,795,814)	(84.5)	(99.0)
(Bのうち材料費)	(1,675,025,070)	(27.4)	(1,620,668,284)	(27.4)	(103.4)
医 業 損 失 X (B - A)	1,886,942,689	30.8	2,035,761,809	34.4	92.7
医 業 外 収 益 $\Delta$	1,823,338,853	29.8	1,967,877,630	33.2	92.7
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(1,750,276,000)	(28.6)	(1,922,184,000)	(32.5)	(91.1)
医 業 外 費 用 E	353,313,241	5.8	351,217,830	5.9	100.6
経 常 損 失 $\Phi$ ((X + E) - $\Delta$ )	416,917,077	6.8	419,102,009	7.1	99.5
特 別 利 益 $\Gamma$	4,848,163	0.1	6,655,640	0.1	72.8
特 別 損 失 H	12,450,167	0.2	7,127,523	0.1	174.7
当 年 度 純 損 失 I (( $\Phi$ + H) - $\Gamma$ )	424,519,081	6.9	419,573,892	7.1	101.2
前 年 度 繰 越 欠 損 金 $\vartheta$	12,038,189,651	-	11,618,615,759	-	103.6
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 I + $\vartheta$	12,462,708,732	-	12,038,189,651	-	103.5

当年度の純損失は、424,519,081円となっており、前年度の419,573,892円と比較して、4,945,189円増加している。

この結果、未処理欠損金は、12,462,708,732円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

### 3 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、143件、14,596,117円（徴収不能引当金計上額及び過大計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

### 4 経理事務について

- (1) その他医業外収益（請負工事に係る光熱水費）が、1件、13,442円過少徴収となっていた。
- (2) 医業未収金が、7件、149,430円過少計上となっていた。
- (3) 消滅時効が完成した未収金の不納欠損処理を行っていないものが、13件、1,067,474円あった。

事務処理に当たり注意されたい。

県立成人病センター

1 利用状況について

平成16年度における当センターの利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
16	176,451	726	133,780	367	400	400	91.6	91.6
15	179,143	728	130,818	357	400	400	89.4	89.4
差引増減( )	2,692	2	2,962	10	0	0	2.2	2.2

2 経営成績について

平成16年度における当センターの経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対し割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円 9,486,029,815	% 100.0	円 9,134,489,174	% 100.0	% 103.8
医 業 費 用 B	10,232,013,474	107.9	9,729,732,057	106.5	105.2
(Bのうち給与費)	(5,037,086,626)	(53.1)	(4,877,327,599)	(53.4)	(103.3)
(Bのうち材料費)	(3,677,961,394)	(38.8)	(3,346,424,257)	(36.6)	(109.9)
医 業 損 失 X (B - A)	745,983,659	7.9	595,242,883	6.5	125.3
医 業 外 収 益 $\Delta$	1,316,684,338	13.9	1,417,460,875	15.5	92.9
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(1,246,965,000)	(13.1)	(1,346,142,000)	(14.7)	(92.6)
医 業 外 費 用 E	549,263,635	5.8	563,467,286	6.2	97.5
経 常 利 益 $\Phi$ ( $\Delta - (X + E)$ )	21,437,044	0.2	258,750,706	2.8	8.3
特 別 利 益 $\Gamma$	7,429,345	0.1	1,358,557	0.0	546.9
特 別 損 失 H	6,002,124	0.1	6,207,895	0.0	96.7
当 年 度 純 利 益 I ( $(\Phi + \Gamma) - H$ )	22,864,265	0.2	253,901,368	2.8	9.0
前 年 度 繰 越 欠 損 金 $\vartheta$	8,645,680,268	-	8,899,581,636	-	97.1
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 $\vartheta - I$	8,622,816,003	-	8,645,680,268	-	99.7

当年度の純利益は、22,864,265円となっており、この結果、未処理欠損金は、8,622,816,003円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

3 診療報酬請求事務について

診療報酬の請求が、1件、53,867円過少請求となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

4 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、52件、6,763,584円（徴収不能引当金計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

5 経理事務について

減価償却費が、1件、1,714,365円過大計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

県立姫路循環器病センター

1 利用状況について

平成16年度における当センターの利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
16	85,739	353	97,332	267	350	350	76.2	76.2
15	91,724	373	97,437	266	350	350	76.1	76.1
差引増減( )	5,985	20	105	1	0	0	0.1	0.1

2 経営成績について

平成16年度における当センターの経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対し割合 ? / ?
	金 額 ?	医業収益に 対する割合	金 額 ?	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 ?	円	%	円	%	%
	8,710,585,441	100.0	8,672,341,001	100.0	100.4
医 業 費 用 ?					
	9,520,352,444	109.3	9,448,763,785	109.0	100.8
(? のうち給与費)	(4,222,453,109)	(48.5)	(4,172,255,094)	(48.1)	(101.2)
(? のうち材料費)	(3,925,884,102)	(45.1)	(3,865,802,274)	(44.6)	(101.6)
医 業 損 失 ? (? - ?)	809,767,003	9.3	776,422,784	9.0	104.3
医 業 外 収 益 ?	1,225,319,351	14.1	1,256,343,661	14.5	97.5
(? のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(1,155,337,000)	(13.3)	(1,189,994,000)	(13.7)	(97.1)
医 業 外 費 用 ?	409,472,202	4.7	426,893,152	4.9	95.9
経 常 利 益 ? (? - (? + ?))	6,080,146	0.1	53,027,725	0.6	11.5
特 別 利 益 ?	10,980,401	0.1	4,049,957	0.1	271.1
特 別 損 失 ?	7,865,218	0.1	205,617	0.0	3,825.2
当 年 度 純 利 益 ? ((? + ?) - ?)	9,195,329	0.1	56,872,065	0.7	16.2
前 年 度 繰 越 欠 損 金 ?	293,435,160	-	350,307,225	-	83.8
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 ? - ?	284,239,831	-	293,435,160	-	96.9



当年度の純利益は、9,195,329円となっており、この結果、未処理欠損金は、284,239,831円となっている。

経営成績の向上に引き続き努力されたい。

### 3 診療報酬請求事務について

診療報酬請求額のうち、返戻を受けてから再請求するまでに3か月以上経過しているものが、7件、8,248,717円あった。

早期に事務処理されたい。

### 4 未収金について

平成16年度末現在における未収金（現年度の診療報酬等を除く。）は、246件、38,559,835円（徴収不能引当金計上額を除く。）である。

収入の促進に努められたい。

### 5 経理事務について

(1) 通勤手当が、1件、11,300円過大支給、2件、12,548円過少支給となっていた。

(2) 貯蔵品が、1件、28,600円過少計上となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

このうち、給与関係の支給誤りは、前年度に引き続き事務処理誤りである。

県立粒子線医療センター

1 利用状況について

平成16年度における当センターの利用状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	外 来 患 者		入 院 患 者		病 床 数		病 床 利 用 率	
	延べ人員	1日 平均	延べ人員	1日 平均	許可	稼働	許可	稼働
					病床	病床	病床	病床
平成 年度	人	人	人	人	床	床	%	%
16	1,786	7	13,057	36	50	50	71.5	71.5
15	1,869	8	11,476	31	50	50	62.7	62.7
差引増減( )	83	1	1,581	5	0	0	8.8	8.8

2 経営成績について

平成16年度における当センターの経営状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	平 成 1 6 年 度		平 成 1 5 年 度		前年度に 対し割合 $\alpha / \beta$
	金 額 $\alpha$	医業収益に 対する割合	金 額 $\beta$	医業収益に 対する割合	
医 業 収 益 A	円 1,021,687,860	% 100.0	円 770,968,287	% 100.0	% 132.5
医 業 費 用 B	2,046,379,951	200.3	1,659,315,740	215.2	123.3
(Bのうち給与費)	(368,176,933)	(36.0)	(368,133,731)	(47.7)	(100.0)
(Bのうち材料費)	(19,112,603)	(1.9)	(12,679,679)	(1.6)	(150.7)
医 業 損 失 X (B - A)	1,024,692,091	100.3	888,347,453	115.2	115.3
医 業 外 収 益 $\Delta$	691,055,585	67.7	675,320,916	87.6	102.3
( $\Delta$ のうち一般会計からの 負担金及び補助金)	(688,877,000)	(67.4)	(672,632,000)	(87.2)	(102.4)
医 業 外 費 用 E	582,267,861	57.0	555,305,367	72.0	104.9
経 常 損 失 $\Phi$ ((X + E) - $\Delta$ )	915,904,367	89.6	768,331,904	99.6	119.2
特 別 利 益 $\Gamma$	551,458	0.1	0	0	-
特 別 損 失 H	281,724	0.1	0	0	-
当 年 度 純 損 失 I (( $\Phi$ + H) - $\Gamma$ )	915,634,633	89.6	768,331,904	99.6	119.2
前 年 度 繰 越 欠 損 金 $\vartheta$	768,331,904	-	0	-	-
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 I + $\vartheta$	1,683,966,537	-	768,331,904	-	219.2

当年度の純損失は、915,634,633円となっており、前年度の768,331,904円と比較して、147,302,729円増加している。

この結果、未処理欠損金は1,683,966,537円となっている。

経営成績の向上になお一層努力されたい。

### 3 契約事務について

修繕工事に係る契約で、契約書の作成及び契約保証金の徴収等をしていないものが、2件あった。

適正に契約事務を執行されたい。

## 教育委員会関係

### 阪神南教育事務所

#### 収入の促進について

平成16年度(17年4月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は510件、総額は37,126,640円で、うち滞納繰越分は、417件、30,002,570円である。

収入の促進になお一層努められたい。

### 阪神北教育事務所

#### 1 収入の促進について

平成16年度(17年4月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は410件、総額は30,553,980円で、うち滞納繰越分は、319件、23,587,820円である。

収入の促進になお一層努められたい。

#### 2 経理事務について

- (1) 報償費(謝金)等の支出において、4か月以上遅れているものが、5件、55,226円あった。
- (2) 児童手当が、1件、75,000円過大支給となっていた。

前年度に引き続き報償費等の支出遅れ及び給与関係の支給誤りが生じており、事務処理に当たりなお一層注意されたい。

### 丹波教育事務所

#### 収入の促進について

平成16年度(17年4月末現在)における大学奨学資金貸付金返還金及び高校奨学資金貸付金返還金の収入未済は、前年度同期と比較すると、件数、収入未済額はいずれも増加しており、その件数は528件、総額は39,613,260円で、うち滞納繰越分は、422件、30,308,100円である。

収入の促進になお一層努められたい。

### 神戸教育事務所

事務処理は、おおむね適正と認められた。

### 埋蔵文化財調査事務所

#### 経理事務について

時間外勤務手当が、2件、56,624円過少支給となっていた。

前年度に引き続き給与関係の支給誤りが生じており、事務処理に当たりなお一層注意されたい。

## 県立美術館

### 県立人と自然の博物館

事務処理は、おおむね適正と認められた。

## 東灘高等学校

### 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年3月末現在）における全日制高校授業料の収入未済額は、6件、57,000円である。

納期内納付の促進に努められたい。

## 神戸高等学校

### 経理事務について

電気料金の遅収加算額を、4件、23,077円徴収されていた。

事務処理に当たり注意されたい。

## 北須磨高等学校

### 1 経理事務について

雑入（行政財産の使用許可に伴う光熱水費等）が、1件、19,706円過大徴収となっていた。  
事務処理に当たり注意されたい。

### 2 管理事務について

当校が管理している敷地に、使用許可のない通信線を共架されている電力柱が、9本あった。  
財産の管理に当たり注意されたい。

### 3 契約事務について

設備工事に係る契約で、契約保証金の徴収等をしていないものが、1件あった。  
適正に契約事務を執行されたい。

## 兵庫工業高等学校

### 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年3月末現在）における全日制高校授業料の収入未済額は、6件、57,300円である。

納期内納付の促進に努められたい。

#### 神戸工業高等学校

##### 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年3月末現在）における定時制高校授業料の納期内納付率は、86.4%で低率である。

納期内納付の促進に努められたい。

#### 尼崎高等学校

##### 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年3月末現在）における全日制高校授業料の収入未済額は、53件、533,250円である。

納期内納付の促進に努められたい。

#### 神崎工業高等学校

##### 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年3月末現在）における定時制高校授業料の納期内納付率は、86.6%で低率であり、また、定時制高校授業料の収入未済額は、42件、117,300円である。

納期内納付の促進に努められたい。

#### 西宮北高等学校

##### 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年3月末現在）における全日制高校授業料の収入未済額は、16件、122,850円である。

納期内納付の促進に努められたい。

#### 西宮甲山高等学校

##### 経理事務について

旅費等が、12件、34,947円過大支給となっていた。

前年度に引き続き給与関係の支給誤りが生じており、事務処理に当たりなお一層注意されたい。

#### 西宮香風高等学校

##### 1 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年3月末現在）における定時制高校授業料の納期内納付率は、85.0%で低率であり、また、定時制高校授業料の収入未済額は、421件、1,136,900円である。

納期内納付の促進に努められたい。

##### 2 経理事務について

定時制通信教育手当等が、2件、44,976円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

川西緑台高等学校

経理事務について

期末手当が、6件、161,172円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

猪名川高等学校

経理事務について

勤勉手当が、1件、98,034円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

氷上高等学校

経理事務について

通勤手当等が、3件、88,150円過大支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

篠山産業高等学校

1 授業料の徴収状況について

平成16年度（17年4月末現在）における全日制高校授業料の収入未済額は、9件、84,000円である。

納期内納付の促進に努められたい。

2 経理事務について

通勤手当等が、7件、27,860円過大支給、1件、20,000円支給漏れとなっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

御影高等学校

夢野台高等学校

兵庫高等学校

鈴蘭台高等学校

鈴蘭台西高等学校

神戸北高等学校

神戸甲北高等学校

湊川高等学校

長田高等学校

須磨東高等学校

須磨友が丘高等学校

星陵高等学校

舞子高等学校

伊川谷北高等学校  
伊川谷高等学校  
神戸高塚高等学校  
長田商業高等学校  
青雲高等学校  
神戸商業高等学校  
尼崎小田高等学校  
尼崎稲園高等学校  
尼崎北高等学校  
尼崎西高等学校  
尼崎工業高等学校  
武庫荘総合高等学校  
西宮高等学校  
鳴尾高等学校  
西宮南高等学校  
西宮今津高等学校  
芦屋高等学校  
国際高等学校  
伊丹高等学校  
伊丹西高等学校  
伊丹北高等学校  
宝塚高等学校  
宝塚東高等学校  
宝塚北高等学校  
宝塚西高等学校  
川西明峰高等学校  
川西北陵高等学校  
川西高等学校  
有馬高等学校  
北摂三田高等学校  
三田西陵高等学校  
三田祥雲館高等学校  
柏原高等学校  
氷上西高等学校  
篠山鳳鳴高等学校  
芦屋国際中等教育学校  
盲学校  
神戸聾学校



こばと聾学校  
神戸養護学校  
阪神養護学校  
こやの里養護学校  
上野ヶ原養護学校  
高等養護学校  
氷上養護学校

事務処理は、おおむね適正と認められた。

## 公安委員会関係

### 垂水警察署

#### 物品の損傷について

平成16年11月8日に追突事故により、公用車1台を損傷していた。

事故防止に配慮するとともに、物品の管理に留意されたい。

### 神戸西警察署

#### 経理事務について

電気料金の遅収加算額を、1件、50,101円徴収されていた。

事務処理に当たり注意されたい。

### 有馬警察署

#### 経理事務について

通勤手当が、2件、49,732円過少支給となっていた。

事務処理に当たり注意されたい。

### 東灘警察署

### 灘警察署

### 葺合警察署

### 生田警察署

### 兵庫警察署

### 長田警察署

### 須磨警察署

### 神戸水上警察署

### 神戸北警察署

### 芦屋警察署

### 西宮警察署

### 甲子園警察署

### 尼崎中央警察署

### 尼崎東警察署

### 尼崎西警察署

### 尼崎北警察署

### 伊丹警察署

### 川西警察署

### 宝塚警察署

### 三田警察署

### 篠山警察署

丹波警察署

事務処理は、おおむね適正と認められた。



## 第 4 財政的援助団体等の監査結果

財政的援助団体等の財務諸表の用語、区分等表示については、各団体の使用しているものに準拠して記載した。



1 監査の対象

すべての県民が健やかに、人間らしく、共に生きることができる社会の実現を図るため、総合的なシンクタンクとして、命の尊厳と生きる喜びを高めるヒューマンケアの研究を進め、21世紀の成熟社会における諸課題について政策提言等を行い、もって美しい兵庫づくりに寄与することを目的とするこの法人に対し、基本財産2,802,150,000円のうち2,010,000,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 訳
補 助 金	21世紀ヒューマンケア研究機構運営費補助等 99,315,396円
公の施設の管理委託	兵庫県こころのケアセンター管理委託料 207,526,000円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の指定管理者である当法人が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	329,160,968円	基本財産運用収入	42,377,495円
管 理 費	116,930,932	事 業 収 入	1,658,490
特 定 預 金 支 出	3,233,150	こころのケアセンター利用収入	4,807,870
繰 入 金 支 出	1,176,240	補 助 金 等 収 入	386,030,496
		負 担 金 収 入	8,538,000
		雑 収 入	392,590
		特 定 預 金 取 崩 収 入	1,176,240
		繰 入 金 収 入	1,176,240
当 期 支 出 合 計	450,501,290	当 期 収 入 合 計	446,157,421
当 期 収 支 差 額	4,343,869	前 期 繰 越 収 支 差 額	22,590,142
次 期 繰 越 収 支 差 額	18,246,273	収 入 合 計	468,747,563

(注)1 補助金等収入に県補助金99,315,396円及び県の公の施設の管理委託料207,526,000円を含む。

2 こころのケアセンター利用収入は県の公の施設の利用料金である。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	13,646,166円	資 産 増 加 額	12,533,251円
負 債 増 加 額	2,108,791	負 債 減 少 額	1,176,240
合 計	15,754,957	合 計	13,709,491
当期正味財産減少額	2,045,466		
前期繰越正味財産額	2,834,564,903		
期末正味財産合計額	2,832,519,437		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	93,254,699円	流 動 負 債	71,686,390円
固 定 資 産	2,832,368,817	固 定 負 債	21,417,689
		正 味 財 産	2,832,519,437
		(うち基本金)	(2,802,150,000)
		(うち当期正味財産減少額)	( 2,045,466)
合 計	2,925,623,516	合 計	2,925,623,516

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計及びこころのケアセンター特別会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 2,787,772円

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。



1 監査の対象

丹波地域のすべての人々の創意と行動力を結集し、地域のすぐれた自然環境を守り育てるとともに、緑を基軸とした地域づくり事業を行い、「人と自然と文化」の調和した、うるおいと、安らぎと、活力に満ちた丹波の森づくりを推進することを目的とするこの協会に対し、県が平成16年度において公の施設である丹波の森公苑の管理委託料として 174,303,240円を支出しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成16年度公の施設の管理受託事業の決算

収支決算書

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
管理受託事業費	166,065,218円	受託事業収入	174,303,240円
運営受託事業費	8,238,022		
合計	174,303,240	合計	174,303,240

(2) 意見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

青少年問題の持つ重要性にかんがみ、広く県民の総意の下に青少年健全育成活動を推進し、明日の兵庫を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とするこの法人に対し、基本財産55,400,000円のうち42,000,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	財団法人兵庫県青少年本部補助事業等	92,223,750円
公の施設の管理委託	県立母と子の島等管理委託	468,900,000円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	806,526,110円	基本財産運用収入	349,597円
管 理 費	49,470,236	会 費 収 入	9,561,042
特 定 預 金 支 出	6,155,876	事 業 収 入	61,962,594
		補 助 金 等 収 入	769,343,277
		雑 収 入	1,448,390
		特 定 預 金 取 崩 収 入	19,578,125
当 期 支 出 合 計	862,152,222	当 期 収 入 合 計	862,243,025
当 期 収 支 差 額	90,803	前 期 繰 越 収 支 差 額	13,005,742
次 期 繰 越 収 支 差 額	13,096,545	収 入 合 計	875,248,767

(注) 補助金等収入に県補助金92,223,750円及び県の公の施設の管理委託料468,900,000円を含む。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	20,568,720円	資 産 増 加 額	6,841,655円
負 債 増 加 額	3,983,149	負 債 減 少 額	19,578,125
減 少 額 計	24,551,869	増 加 額 計	26,419,780
当 期 正 味 財 産 増 加 額	1,867,911		
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	76,632,675		
期 末 正 味 財 産 合 計 額	78,500,586		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	106,450,766円	流 動 負 債	93,219,774円
固 定 資 産	133,800,474	固 定 負 債	68,530,880
		正 味 財 産	78,500,586
		(うち基本金)	(55,400,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(1,867,911)
合 計	240,251,240	合 計	240,251,240

(注) 固定資産から控除した減価償却累計額 6,535,666円

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

芸術文化の創造と交流、調査研究、普及啓発及び学習機会の提供など多様な芸術文化活動を展開することにより、芸術文化の振興を図り、県民文化の向上に寄与するとともに、こころ豊かな人づくりに資することを目的とするこの協会に対し、県が平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	財団法人兵庫県芸術文化協会補助事業	32,891,000円
公の施設の管理委託	兵庫県民会館等管理委託	559,163,644円

2 監査の結果

(1) 平成16年度補助対象事業及び公の施設の管理受託事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	614,115円	補 助 金 等 収 入	565,427,805円
受 託 事 業 費	586,090,783	基 本 財 産 運 用 収 入	229,786
管 理 費	32,287,871	事 業 収 入	59,725,634
特 定 預 金 支 出	6,111,314		
当 期 支 出 合 計	625,104,083		
当 期 収 支 差 額	279,142		
次 期 繰 越 収 支 差 額	279,142	当 期 収 入 合 計	625,383,225

(注) 補助金等収入は県補助金32,891,000円及び県の公の施設の管理委託料532,536,805円(消費税及び地方消費税26,626,839円を除く。)である。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

兵庫県の行政に協力するとともに、兵庫県職員の福利増進等を図る事業を行い、もって兵庫県政の能率的な執行に寄与し、県民の福祉の増進に資することを目的とするこの会の事業のうち、厚生に関する事業について、県が平成16年度において449,265,000円の補助金を交付しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成16年度補助対象事業の決算

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	769,823,671円	基本財産運用収入	150,000円
管 理 費	20,111,629	会 費 収 入	267,958,726
特 定 預 金 支 出	211,449,925	事 業 収 入	57,846,200
		補 助 金 等 収 入	449,265,000
		負 担 金 収 入	75,439,910
		雑 収 入	31,495,876
		固定資産取崩収入	150,000
		貸付金返済収入	95,435,000
		特定預金取崩収入	55,914,843
当 期 収 支 差 額	43,901,277	繰 入 金 収 入	11,630,947
合 計	1,045,286,502	合 計	1,045,286,502

(注) 共済経理及び福利経理を合算したものである。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

## 1 監査の対象

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、人類の安全と共生について、総合的な調査研究及び実践を行うとともに、その成果の公開等を行うことにより、災害対策はもとより、大都市機能の改善等、人と自然が共存する安全かつ適正な国土の形成に資し、もって21世紀文明の創造に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産250,000,000円のうち100,000,000円を県が出せんし、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容
補 助 金	阪神・淡路大震災記念協会補助事業 111,942,000円
公の施設の管理委託	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター管理委託料 765,574,100円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の管理受託者である当協会が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

## 2 監査の結果

### (1) 平成16年度決算

#### 収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	1,050,623,484円	基本財産運用収入	4,749,999円
管 理 費	333,147,946	事 業 収 入	153,009,796
特 定 預 金 支 出	3,344,300	補 助 金 等 収 入	1,171,337,884
		雑 収 入	50,029,202
		特 定 預 金 取 崩 収 入	11,849,640
当 期 支 出 合 計	1,387,115,730	当 期 収 入 合 計	1,390,976,521
当 期 収 支 差 額	3,860,791	前 期 繰 越 収 支 差 額	17,875,898
次 期 繰 越 収 支 差 額	21,736,689	収 入 合 計	1,408,852,419

(注) 1 補助金等収入に県補助金111,942,000円及び県の公の施設の管理委託料765,574,100円を含む。

2 事業収入は県の公の施設の利用料金である。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	12,269,658円	資 産 増 加 額	7,205,091円
負 債 増 加 額	3,344,300	負 債 減 少 額	350,640
合 計	15,613,958	合 計	7,555,731
当期正味財産増加額	8,058,227		
前期繰越正味財産額	293,413,613		
期末正味財産合計額	285,355,386		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	422,137,996円	流 動 負 債	398,034,680円
固 定 資 産	268,420,010	固 定 負 債	7,167,940
		正 味 財 産	285,355,386
		(うち基本金)	(250,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	( 8,058,227)
合 計	690,558,006	合 計	690,558,006

(注) 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計及びセンター特別会計を合算したものである。

(2) 意 見

経理事務について

通勤手当が、1件、11,636円過大支給となっていた。

事務処理に当たり配慮されたい。

## 日本赤十字社兵庫県支部

### 1 監査の対象

赤十字に関する諸条約及び赤十字国際会議において議決された諸原則の精神にのっとり、赤十字の理想とする人道的任務を達成することを目的とするこの法人に対し、県が平成16年度において、公の施設である兵庫県災害医療センターの管理委託料として1,637,105,173円を支出しているので、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

### 2 監査の結果

#### (1) 平成16年度公の施設の管理受託事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
施 給 与 費	832,907,676円	施 設 収 益	1,637,105,173円
設 材 料 費	554,897,575		
費 経 費	236,638,562		
用 研 究 研 修 費	12,661,360		
合 計	1,637,105,173	合 計	1,637,105,173

#### (2) 意 見

経理事務について

退職給与積立金が、80件、183,341円過大支出となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。



社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

1 監査の対象

県と一体となって本県の社会福祉事業の推進を図り、もって県民福祉の向上と増進に寄与することを目的とするこの事業団に対し、基本財産11,000,000円のうち10,500,000円を県が出せんし、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この事業団の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
負 担 金	産休等代替職員確保事業	187,110円
補 助 金	兵庫県社会福祉事業団運営事業等	624,313,523円
貸付金	単年度 兵庫県社会福祉事業団運営資金	1,000,000,000円
公の施設の管理委託	兵庫県立社会福祉施設管理等委託料	5,114,489,661円

(注) リハビリテーション中央病院、特別養護老人ホーム(5施設)及び保養所(3施設)については、地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の管理受託者である当事業団が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

事業活動収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業活動支出	12,153,983,853円	事業活動収入	12,420,425,653円
授産事業活動支出	137,429,869	授産事業活動収入	141,463,576
事業活動外支出	565,474,247	事業活動外収入	567,963,459
特別支出	6,565,124	特別収入	19,255,751
その他の積立金積立額	317,144,240	その他の積立金取崩額	118,886,400
次期繰越活動収支差額	877,910,011	前期繰越活動収支差額	790,512,505
合 計	14,058,507,344	合 計	14,058,507,344

(注) 事業活動収入に県負担金187,110円、県補助金624,313,523円及び県の公の施設の管理委託料5,114,489,661円を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,710,784,485円	流 動 負 債	1,300,659,424円
固 定 資 産	1,342,280,161	固 定 負 債	30,316,470
		基 本 金	11,000,000
		基 金	32,370,000
		そ の 他 の 積 立 金	800,808,741
		次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	877,910,011
		(うち当期活動収支差額)	(87,397,506)
合 計	3,053,064,646	合 計	3,053,064,646

(注) 1 収支計算書及び貸借対照表とも一般会計及び特別会計(職員退職共済事業及び職員等海外研修基金)を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 936,549,662円

(2) 意 見

ア 診療報酬請求事務について

診療報酬の請求が、3件、18,100円過少請求となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。

イ 経理事務について

(ア) 宿日直手当等が、1件、56,000円過大支給、2件、21,627円過少支給となっていた。

(イ) 固定資産が、4件、2,037,344円過少計上となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。

社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会

1 監査の対象

兵庫県における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とするこの協議会に対し、県が平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	
補 助 金		社 会 福 祉 事 業 費 等	316,767,940円
貸 付 金	長 期	生活福祉資金特別貸付（小口資金貸付）	4,956,991,959円
		事業資金等	(決算時残高)
		生活復旧資金貸付事業資金	25,240,430円
	単年度	NPOコミュニティ・シ・ズ等活動応援貸付事業資金	3,000,000円
公の施設の管理委託		兵庫県社会福祉研修所等管理委託料	82,731,261円

2 監査の結果

(1) 平成16年度補助対象事業、貸付対象事業及び公の施設の管理受託事業の決算  
一般会計・公益事業特別会計事業収支計算書

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
人 件 費	327,867,751円	会 費	35,704,650円
事 務 費	51,094,060	寄 附 金	27,091,777
事 業 費	536,529,943	分 担 金	625,100
分 担 金	1,277,090	経 常 経 費 補 助 金	443,421,000
助 成 金	195,325,949	助 成 金	15,567,790
負 担 金	164,000	受 託 金	307,450,511
減 価 償 却 費	4,078,149	事 業 収 入	263,516,078
そ の 他 の 支 出	84,643,116	共 同 募 金 配 分 金	10,938,396
積 立 金 積 立	44,620,378	負 担 金	52,980,679
次期繰越活動収支差額	268,718,089	受 取 利 息 配 当 金	5,837,265
		そ の 他 の 収 入	95,584,779
		積 立 金 取 崩	3,648,000
		前 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	251,952,500
合 計	1,514,318,525	合 計	1,514,318,525

- (注) 1 一般会計及び公益事業特別会計(社会福祉事業従事者研修事業、兵庫県福祉センター運営事業)を合算したものである。  
2 経常経費補助金に県補助金259,321,000円を含む。  
3 受託金に県の公の施設の管理委託料82,731,261円を含む。

その他特別会計収支計算書

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
人 件 費	39,380,504円	県 補 助 金	57,446,940円
事 務 費	13,135,416	償 還 金	277,559,279
事 業 費	39,244,681	貸 付 金 利 子	24,982,450
貸 付 金	491,652,800	貸 付 金 返 還 金	9,855,000
積 立 金	2,845,812	積 立 金 戻 入	17,161,826
県 返 還 金	226,330,890	積 立 金 利 息	1,316
借 入 金 返 還	9,855,000	雑 収 入	22,001,139
繰 出 金	46,000,266	繰 入 金	44,369,146
翌 年 度 繰 越 金	4,276,680,584	前 年 度 繰 越 金	4,691,748,857
合 計	5,145,125,953	合 計	5,145,125,953

(注) 生活福祉資金会計、生活福祉資金(災害)会計、生活復旧資金会計、生活福祉資金(離職者支援資金)会計及び生活福祉資金貸付事務費会計を合算したものである。

(2) 意 見

収入の促進について

平成16年度末現在における生活福祉資金貸付金償還金等の収入未済額は、5,269,699,240円である。

収入の促進に配慮されたい。

財団法人 ひょうご産業活性化センター

1 監査の対象

中小企業の経営の革新及び創業の促進、経営基盤の強化等のための諸事業並びに地域経済の活性化に関する事業を行い、もって中小企業の発展を図ることを目的とするこの法人に対し、基本財産80,000,000円及び創出支援基金等 8,597,168,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助を行っているので、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	
補 助 金		中小企業支援センター事業等	503,952,530円
貸 付 金	長 期	小規模企業者等設備貸与事業資金等（決算時残高）	11,580,028,425円
	単年度	先進機器・省エネルギー等設備貸与事業資金等	7,483,420,000円
損 失 補 償		小規模企業者等設備貸与事業等（限度額）	3,704,993,000円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

収支計算書

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費 用	2,084,431,229円	事 業 収 益	2,265,677,082円
事 業 外 費 用	434,570,508	事 業 外 収 益	253,324,655
合 計	2,519,001,737	合 計	2,519,001,737

(注) 事業収益に県補助金503,952,530円を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 基 金 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	20,191,257,882円	流 動 負 債	12,695,619,313円
固 定 資 産	17,672,065,690	固 定 負 債	15,427,630,043
繰 延 資 産	498,225	基 本 財 産	80,000,000
		基 金	9,660,572,441
		(指導体制強化基金)	(100,000,000)
		(創出支援基金)	(4,500,000,000)
		(貸与原資金)	(29,536,000)
		(情報化基盤整備促進基金)	(300,000,000)
		(投資原資金)	(2,544,170,000)
		(投資原資準備金)	(1,256,640,000)
		(事業補てん準備金(Y2K))	(34,440,105)
		(事業損失補てん準備金)	(895,786,336)
合 計	37,863,821,797	合 計	37,863,821,797

(注)固定資産から控除した減価償却累計額 22,730,602円

(2) 意 見

ア 収入の促進について

平成16年度末現在における割賦設備償還金等の収入未済額は、114件、741,159,377円である。

収入の促進に配意されたい。

イ 経理事務について

期末手当が、1件、25,706円過大支給となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。

1 監査の対象

中小企業者等のために信用保証の業務を行い、もってこれらの者に対する金融の円滑化を図ることを目的とするこの協会に対し、基本財産47,859,771,291円のうち19,936,175,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内	容
貸付金	単年度	中小企業振興資金等	258,134,080,000円
損失補償		中小企業融資等保証(限度額)	28,124,240,000円
		損失補償金(交付額)	1,608,387,289円

2 監査の結果

(1) 第51期(平成16年4月1日から17年3月31日まで)決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常支出	9,168,892,874円	経常収入	14,525,057,448円
経常外支出	57,582,004,823	経常外収入	51,245,396,168
当期収支差額	261,241,645	金融安定化特別基金取崩額	1,241,685,726
(収支差額変動準備金繰入額)	130,000,000		
(基本財産繰入額)	131,241,645		
合 計	67,012,139,342	合 計	67,012,139,342

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	1,989,183円	基 本 財 産	47,859,771,291円
預 け 金	73,512,646,895	( 基 金 )	16,357,758,000
有 価 証 券	39,833,179,900	(金融安定化特別基金)	1,873,193,226
動 産 ・ 不 動 産	2,105,251,836	( 基 金 準 備 金 )	29,628,820,065
損 失 補 償 金 見 返	20,978,210,166	収 支 差 額 変 動 準 備 金	10,767,080,204
保 証 債 務 見 返	1,247,829,716,895	責 任 準 備 金	8,015,577,130
求 償 権	11,358,687,147	求 償 権 償 却 準 備 金	4,506,737,023
雑 勘 定	3,434,490,415	退 職 給 与 引 当 金	2,175,997,723
		損 失 補 償 金	20,978,210,166
		保 証 債 務	1,247,829,716,895
		借 入 金	30,902,000,000
		雑 勘 定	26,019,082,005
合 計	1,399,054,172,437	合 計	1,399,054,172,437

(2) 意 見

ア 求償権の回収について

第51期末現在における求償権残高は、2,876件、11,358,687,147円である。

求償権の回収に配意されたい。

イ 経理事務について

動産・不動産減価償却等が、2件、439,691円過大計上となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。



1 監査の対象

中小企業に従事する労働者の健康を増進し、余暇の善用を図るため、共同利用施設を設置するとともに中小企業における労働生産性の向上に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産15,000,000円のうち10,000,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	金額
補助金	勤労福祉協会運営事業等	29,248,448円
貸付金	単年度 勤労福祉協会運営事業資金等	1,045,320,000円
公の施設の管理委託	兵庫県中央労働センター等管理委託料	418,142,000円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業費	1,594,706,408円	基本財産運用収入	195,000円
管理費	51,752,572	事業収入	900,663,986
固定資産取得支出	99,938,096	掛金収入	117,732,000
受入保証金支出	441,900	補助金等収入	616,407,013
敷金支出	600,000	負担金収入	14,116,829
借入金返済支出	1,045,320,000	寄附金収入	1,804,671
特定預金支出	75,124,609	雑収入	31,171,819
融資預託支出	112,500,000	受入保証金収入	708,750
		敷金戻り収入	280,000
		借入金収入	1,045,320,000
		特定預金取崩収入	21,977,866
当期支出合計	2,980,383,585	当期収入合計	2,750,377,934
当期収支差額	230,005,651	前期繰越収支差額	580,791,528
次期繰越収支差額	350,785,877	収入合計	3,331,169,462

(注) 補助金等収入に県補助金29,248,448円及び県の公の施設の管理委託料418,142,000円を含む。

## 正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	262,730,677円	資 産 増 加 額	295,151,128円
負 債 増 加 額	1,064,185,444	負 債 減 少 額	1,063,062,977
合 計	1,326,916,121	合 計	1,358,214,105
当期正味財産増加額	31,297,984		
前期繰越正味財産額	517,004,370		
期末正味財産合計額	548,302,354		

## 貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,530,460,263円	流 動 負 債	1,168,860,566円
固 定 資 産	655,604,508	固 定 負 債	468,901,851
		正 味 財 産	548,302,354
		(うち基本金)	(15,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(31,297,984)
合 計	2,186,064,771	合 計	2,186,064,771

(注)1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、事業特別会計、憩の宿事業特別会計、県受託事業特別会計、共済事業特別会計、勤労者福祉融資事業特別会計及び被災者就業支援事業特別会計を合算したもので理事會資料に基づき記載した。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 100,143,421円

## (2) 意 見

### ア 経営成績について

決算の結果、31,297,984円の当期正味財産の増加を生じており期末正味財産合計額は548,302,354円となっているものの、平成15年度に寄附を受けた(財)兵庫県勤労者信用基金協会からの残余財産562,651,589円(使用目的が勤労者の能力開発及び子弟教育支援事業に限定されている。)を控除した期末正味財産合計額は、マイナス14,349,235円(前年度末はマイナス43,979,863円)となっている。

経営成績の向上に配意されたい。

### イ 経理事務について

平成15年度決算の次期繰越収支差額と16年度決算の前期繰越収支差額が、また、15年度決算の期末正味財産合計額と16年度決算の前期繰越正味財産額がそれぞれ合致していなかった。

事務処理に当たり配意されたい。

1 監査の対象

兵庫県の国際化と県民の国際交流活動を促進し、諸外国との相互理解と協力関係を深め、もってこころ豊かな地域社会づくりと国際社会の発展に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産500,000,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容
補 助 金	兵庫県国際交流協会事業等 66,994,000円
貸 付 金	長期 ひょうご国際プラザ施設設置資金(決算時残高) 160,451,568円
公の施設の管理委託	淡路夢舞台国際会議場管理委託料 248,864,000円

(注) 地方自治法第244条の2第8項の規定に基づき、公の施設の管理受託者である当協会が施設の利用に係る料金を収入として収受し、管理経費に充当している。

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
一 般 事 業 費	1,146,812,410円	基本財産運用収入	10,400,000円
管 理 運 営 費	322,696,209	国際交流基金運用収入	146,313,665
管 理 費	68,269,930	会 費 収 入	902,895
固定資産購入支出	3,828,055	事 業 収 入	24,004,066
長期借入金返済支出	11,228,832	補 助 金 等 収 入	1,207,035,497
特 定 預 金 支 出	36,925,362	施 設 収 入	73,399,637
		寄 附 金 収 入	16,600,000
		雑 収 入	16,407,674
		敷金・保証金戻り収入	11,228,832
		特定預金取崩収入	68,387,469
当期支出合計	1,589,760,798	当期収入合計	1,574,679,735
当期収支差額	15,081,063	前期繰越収支差額	49,336,363
次期繰越収支差額	34,255,300	収 入 合 計	1,624,016,098

(注) 1 補助金等収入に県補助金66,994,000円及び県の公の施設の管理委託料248,864,000円を含む。

2 施設収入は県の公の施設の利用料金である。

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 減 少 額	96,042,929円	資 産 増 加 額	47,697,265円
負 債 増 加 額	627,675	負 債 減 少 額	11,228,832
合 計	96,670,604	合 計	58,926,097
当期正味財産増加額	37,744,507		
前期繰越正味財産額	5,680,341,245		
期末正味財産合計額	5,642,596,738		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	212,136,319円	流 動 負 債	177,881,019円
固 定 資 産	5,781,321,081	固 定 負 債	172,979,643
		正 味 財 産	5,642,596,738
		(うち基本金)	( 500,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	( 37,744,507)
合 計	5,993,457,400	合 計	5,993,457,400

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計及び国際会議場会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 4,142,701円

3 外貨建取引については、取引発生時の為替相場による円換算額で計上し、外貨建資産は決算時の為替相場による円換算額で計上している。

なお、資金に分類される換算差額は、収支計算書の雑収入に 383,317円を計上し、非資金に分類される換算差額は、正味財産増減計算書の資産増加額に6,943,848円を計上している。

また、貸借対照表の流動資産には、361,480円(外貨小口現金：26,308.6香港ドル)、3,261,444円(外貨預金：929.77米ドル、18,025.39ユーロ、48,081.55香港ドル)及び 8,399,329円(外貨建有価証券：78,264.34米ドル)を計上し、固定資産には、443,267,554円(外貨建有価証券：4,130,335.02米ドル)、2,248,533円(外貨建敷金：8,460ユーロ、78,217.5香港ドル)及び 1,568,308円(財政調整引当預金：14,613.38米ドル)を計上している。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

兵庫県土地改良事業団体連合会

1 監査の対象

土地改良事業を行う者（国、県及び土地改良法第95条第1項の規定により土地改良事業を行う同法第3条に規定する資格を有する者を除く。）の協同組織により、土地改良事業の適切かつ効率的な運営を確保し、及びその共同の利益を増進することを目的とするこの連合会の事業のうち、土地改良推進事業等について、県が平成16年度において 93,058,500円の補助金を交付しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成16年度補助対象事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
土地改良推進事業費	9,500,000	県補助金	93,058,500
土地改良施設維持管理 適正化事業費	250,710,000	交付金	148,802,000
基幹水利施設管理 技術者育成支援事業費	6,296,000	賦課金	67,246,000
換地処分促進 対策事業費	11,896,000	助成金	3,798,500
調査設計事業費	23,240,000	その他の収入	2,354,000
農業集落排水維持 適正化事業費	3,920,000		
農村総合整備 推進事業費	2,100,000		
担い手育成支援事業費	7,597,000		
合 計	315,259,000	合 計	315,259,000

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

農地保有の合理化、農業後継者の育成、その他農業構造の改善を促進し、農業の振興と調和ある県土の発展に寄与するとともに、森林整備事業、緑化事業及び人と森林とのふれあい事業を推進し、森林の有する多面的機能の維持・増進、都市等における景観の創造及び県民の福祉の向上に寄与することを目的とするこの公社に対し、県が平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これらに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	容
補 助 金		造林事業等	839,728,792円
貸 付 金	長 期	造林事業資金等（決算時残高）	2,396,627,000円
	単年度	造林事業資金等	5,320,289,000円
損 失 補 償		造林資金借入金（決算時残高）	50,371,740,318円
公の施設の管理委託		兵庫県立三木山森林公園等管理委託料	202,134,105円

## 2 監査の結果

### (1) 平成16年度補助対象事業、貸付対象事業及び公の施設の管理受託事業等の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
農地保有合理化推進事業費	360,084,248円	基本財産運用収入	9,491,263円
農業農村活性化推進事業費	73,504,704	諸事業収入	425,591,458
農業後継者育成事業費	31,604,808	受託事業収入	938,333,349
氷上農工団地事業費	39,499,214	樹苗事業収入	739,450
造林事業費	1,583,290,323	補助金等収入	677,885,089
諸事業費	7,258,845	緑化基金収入	349,086,829
県営分収育林事業費	86,429,148	雑収入	23,527,981
緑化事業費	1,302,252,774	基本財産収入	61,000
研究所事業費	25,046,425	固定資産売却収入	464,626
樹苗事業費	145,540	敷金・保証金収入	17,853,639
受託事業費	231,749,839	借入金収入	10,091,483,959
管理費	698,602,746	特定預金取崩収入	992,747,789
固定資産取得支出	9,508,886	分収育林収入	49,293
敷金・保証金支出	1,550,000	貸付金償還収入	10,929,000
貸付金支出	19,920,000	繰入金収入	35,571,764
借入金返済支出	8,672,024,488		
特定預金支出	395,328,533		
繰入金支出	37,341,881		
当期支出合計	13,575,142,402	当期収入合計	13,573,816,489
当期収支差額	1,325,913	前期繰越収支差額	566,600,248
次期繰越収支差額	565,274,335	収入合計	14,140,416,737

(注) 1 農村活性化事業会計、造林事業会計、県営分収育林事業会計及び緑化・森林ふれあい事業会計を合算したものである。

2 補助金等収入、諸事業収入及び緑化基金収入に県補助金822,983,255円(消費税及び地方消費税 16,745,537円を除く。)を含む。

3 受託事業収入に県の公の施設の管理委託料192,508,672円(消費税及び地方消費税 9,625,433円を除く。)を含む。

### (2) 意見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

公共用地、公用地等の取得、管理、処分等を行うことにより、地域の秩序ある整備と県民福祉の増進に寄与することを目的とするこの公社に対し、基本財産105,000,000円を県が出資し、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、この公社の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容		
貸付金	長期	事業資金等（決算時残高）	9,456,504,913円
	単年度	事業資金	10,600,000,000円
債務保証		債務保証額（決算時残高）	135,750,000,000円
利子補給		先行取得用地取得資金利子補給金等	1,242,388,755円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

損益計算書

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業原価	37,545,035,329円	事業収益	38,106,018,497円
販売費及び一般管理費	325,609,785	事業外収益	7,732,121
事業外費用	1,153,130		
当期純利益	241,952,374		
合計	38,113,750,618	合計	38,113,750,618

貸借対照表

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	173,114,790,447円	流動負債	14,141,798,711円
固定資産	2,869,895,353	固定負債	150,251,481,112
		特定引当金	6,648,231,509
		基本金	105,000,000
		準備金	4,838,174,468
		(うち当期純利益)	(241,952,374)
合計	175,984,685,800	合計	175,984,685,800

(注) 1 固定資産から控除した減価償却累計額 128,113,738円

2 固定負債に県借入金9,456,504,913円を含む。

3 県からの利子補給1,242,388,755円は、公有地取得事業に係る資金調達経費（支払利息等）に充当しており、流動資産中の公有用地が利子補給相当額減額されている。

(2) 意見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。



兵庫県道路公社

1 監査の対象

兵庫県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とするこの公社に対し、基本財産 55,111,000,000円を県が出資し、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、この公社の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	
貸 付 金	長 期	事業運営資金等（決算時残高）	6,267,805,933円
	単年度	建設事業資金等	16,148,250,000円
債 務 保 証		債務保証額（決算時残高）	66,066,306,821円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

損益計算書

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
業 務 管 理 費	3,718,750,650円	業 務 収 益	9,183,720,402円
諸 減 価 償 却 費	3,738,201,295	受 託 業 務 収 益	462,000,000
諸 引 当 損	880,844,850	業 務 外 収 益	74,174,973
受 託 業 務 費	461,548,379		
一 般 管 理 費	170,039,964		
業 務 外 費 用	735,894,969		
特 別 損 失	3,742,435		
当 期 利 益	10,872,833		
合 計	9,719,895,375	合 計	9,719,895,375

(注) 諸減価償却費に償還準備金繰入額 3,635,181,433円を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	16,636,070,595円	流 動 負 債	17,341,430,500円
固 定 資 産	213,341,410,658	固 定 負 債	73,692,699,000
		特別法上の引当金等	83,607,371,814
		基 本 金	55,111,000,000
		剰 余 金	224,979,939
		( 準 備 金 )	(214,107,106)
		( 当 期 利 益 )	( 10,872,833)
合 計	229,977,481,253	合 計	229,977,481,253

(注) 1 固定資産から控除した減価償却累計額 634,983,578円

2 特別法上の引当金等に償還準備金 66,056,010,000円を含む。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

新西宮ヨットハーバー株式会社

1 監査の対象

西宮港区内に係留されているヨット等の誘導、集約を行い、水域利用の適正化と船舶航行の安全を確保するとともに、増加するプレジャーボートにも対応するため、親水機能や安全な海洋性レクリエーションの場を創造することを目的とするこの会社に対し、資本金2,500,000,000円のうち850,000,000円を県が出資し、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、この会社の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分		内 容	
貸 付 金	長 期	特定用途港湾施設整備事業無利子貸付金等	1,766,169,000円 (決算時残高)
	単年度	事業資金	400,000,000円
公の施設の管理委託		港湾施設管理委託料	27,975,000円

2 監査の結果

(1) 第13期(平成16年4月1日から17年3月31日まで)決算

損益計算書

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	615,046,947円	営 業 収 益	616,257,386円
営 業 外 費 用	4,241,878	営 業 外 収 益	8,044,200
法人税、住民税及び事業税	1,032,000		
当 期 利 益	3,980,761		
合 計	624,301,586	合 計	624,301,586

(注) 営業収益に県の公の施設の管理委託料26,642,858円(消費税及び地方消費税1,332,142円を除く。)を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	253,758,683円	流 動 負 債	962,854,228円
固 定 資 産	3,212,420,934	固 定 負 債	2,075,879,000
		資 本 金	2,500,000,000
		当 期 未 処 理 損 失	2,072,553,611
		(うち当期利益)	( 3,980,761)
合 計	3,466,179,617	合 計	3,466,179,617

(注) 固定資産から控除した減価償却累計額 3,320,289,043円

(2) 意 見

経理事務について

賞与が、1件、88,854円過少支出となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。

兵庫県住宅供給公社

1 監査の対象

住宅を必要とする勤労者に対し、住宅の積立分譲等の方法により居住環境の良好な集団住宅及びその用に供する宅地を供給し、もって住民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とするこの公社に対し、資本金15,000,000円のうち8,000,000円を県が出資し、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているため、この公社の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	金額
補助金	経営安定基金造成費補助金等	14,945,367,905円
貸付金	長期 公社長期特別貸付金等(決算時残高)	500,000,000円
	単年度 兵庫県住宅供給公社事業資金	13,000,000,000円
損失補償	兵庫住宅供給公社事業借入金(決算時残高)	69,692,307,700円
	公社ビル建設資金借入金(決算時残高)	309,440,000円
利子補給	先行取得用地取得資金利子補給金	403,838,703円
公の施設の管理委託	県営住宅管理委託料	5,874,467,523円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算  
損益計算書

区 分	金額
事業収益?	68,437,338,209円
事業原価?	66,016,373,578
一般管理費?	432,386,749
事業利益? (? - ? - ?)	1,988,577,882
その他経常収益?	8,374,850
その他経常費用?	537,298,829
経常利益? (? + ? - ?)	1,459,653,903
特別利益?	1,471,735,702
特別損失?	58,347,109
特定準備金計上前利益? (? + ? - ?)	2,873,042,496
特定準備金取崩?	0
特定準備金繰入?	2,562,558,532
当期利益 (? + ? - ?)	310,483,964

(注) 事業収益に県補助金330,993,905円及び県の公の施設の管理委託料5,594,730,755円(消費税及び地方消費税279,736,768円を除く。)を含む。

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	12,576,146,620円	流 動 負 債	91,754,612,036円
固 定 資 産	125,275,253,160	固 定 負 債	42,706,193,164
		特 定 準 備 金	1,327,187,242
		資 本 金	15,000,000
		剰 余 金	2,048,407,338
		(うち当期利益)	(310,483,964)
合 計	137,851,399,780	合 計	137,851,399,780

(注) 1 損益計算書及び貸借対照表とも一般会計及び受託会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 7,967,747,910円

3 県からの利子補給 403,838,703円は、県先行取得用地取得事業に係る資金調達経費(支払利息等)に充当している。

4 県からの経営安定基金造成費補助金 14,100,000,000円は、剰余金に計上し、資産価額の評価損処理のため、取崩している。

(2) 意 見

ア 収入の促進について

(ア) 平成16年度末現在における公社住宅に係る家賃及び割賦金(分譲住宅入居者償還金、共益費)の収入未済額は、517,870,275円で、うち6か月分以上の滞納者は、387人で、その総額は、376,060,897円である。

(イ) 平成16年度末現在における賃貸住宅の団地等に設置した駐車場に係る使用料等の収入未済額は、113,687,853円で、うち6か月分以上の滞納者は、612人で、その総額は、82,398,354円である。

(ウ) 平成16年度末現在における退去跡補修費等の公社立替払経費の収入未済額は、130,918,917円で、うち過年度分の滞納者は、750人で、その総額は、110,439,312円である。

(エ) 平成16年度末現在における分譲住宅の延払割賦未収金は、2,607,243円で、うち50万円以上の高額滞納者は、1人で、その額は、2,120,000円である。  
収入の促進に配慮されたい。

イ 県から委託を受けた県営住宅使用料等の収納の促進について

平成16年度(17年5月末現在)における県営住宅使用料等の収入未済額は、1,169,340,507円で、うち6か月分以上の滞納者は、2,333人で、その総額は、946,323,533円である。  
収納の促進に配慮されたい。

1 監査の対象

兵庫県の管理する都市公園及び兵庫県立フラワーセンターの健全な利用を図るとともに、花と緑を育てる技術及び公園緑地に対する愛護精神の啓蒙普及を促進することにより、花と公園緑地事業の振興及び明るく潤いのある社会の創造に寄与することを目的とするこの協会に対し、県が平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補 助 金	兵庫県園芸・公園協会運営事業	72,144,081円
貸付金 単年度	兵庫県園芸・公園協会遊戯施設建設資金	10,000,000円
損 失 補 償	赤穂海浜公園施設建設資金借入金(決算時残高)	10,731,000円
公の施設の 管 理 委 託	明石公園等管理委託料	1,713,852,550円

2 監査の結果

(1) 平成16年度補助対象事業、貸付対象事業等及び公の施設の管理受託事業の決算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
公園施設維持管理等 受 託 事 業 費	円 1,693,500,076	事 業 収 入	円 1,736,918,550
管 理 費	72,144,081	補 助 金 等 収 入	72,144,081
特 定 預 金 支 出	26,865,290	特 定 預 金 取 崩 収 入	6,512,816
借 入 金 返 済 支 出	33,066,000	借 入 金 収 入	10,000,000
合 計	1,825,575,447	合 計	1,825,575,447

(注) 事業収入に県の公の施設の管理委託料1,713,852,550円を含む。また、補助金等収入72,144,081円は県補助金である。

(2) 意 見

経理事務について

ア 事業収入(県からの公の施設の管理委託料)が、12件、3,384,774円過大収入となっていた。

イ 期末手当等が、2件、281,514円過少支給となっていた。

事務処理に当たり配意されたい。

1 監査の対象

阪神・淡路大震災からの早期復興のための各般の取組を補完し、被災者の救済及び自立支援並びに被災地域の総合的な復興対策を長期・安定的、機動的に進め、災害により疲弊した被災地域を魅力ある地域に再生させることを目的とするこの法人に対し、基本財産20,000,000,000円のうち13,330,000,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助を行っているので、この法人の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容
補 助 金	阪神・淡路大震災復興基金補助事業 3,507,200円
貸 付 金	長期 阪神・淡路大震災復興基金貸付金(決算時残高) 586,670,000,000円
損 失 補 償	阪神・淡路大震災復興事業資金借入金(決算時残高) 19,736,000,000円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

収支計算書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	7,835,038,777円	基本財産運用収入	274,999,998円
管 理 費	113,149,269	補 助 金 等 収 入	3,507,200
借入金返済支出	35,497,475,995	寄 附 金 収 入	20,607,183
		雑 収 入	35,186,443,112
		借 入 金 収 入	7,961,000,000
当期支出合計	43,445,664,041	当期収入合計	43,446,557,493
当期収支差額	893,452	前期繰越収支差額	5,924,764
次期繰越収支差額	6,818,216	収 入 合 計	43,452,482,257

正味財産増減計算書

減 少 の 部		増 加 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
負債増加額	7,961,000,000円	資産増加額	893,452円
		負債減少額	35,100,000,000
合 計	7,961,000,000	合 計	35,100,893,452
当期正味財産増加額	27,139,893,452		
前期繰越正味財産額	36,737,075,236		
期末正味財産合計額	9,597,181,784		



貸借対照表

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,222,364,891円	流 動 負 債	1,215,546,675円
固 定 資 産	900,000,000,000	固 定 負 債	909,604,000,000
		正 味 財 産	9,597,181,784
		(うち基本金)	(20,000,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(27,139,893,452)
合 計	901,222,364,891	合 計	901,222,364,891

(注)収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計の決算である。

(2) 意 見

収入の促進について

平成16年度末現在における民間賃貸住宅家賃負担軽減事業補助等の過払による未収金  
(貸倒引当金計上額を除く。)は、138件、3,918,945円である。

収入の促進に配慮されたい。

1 監査の対象

教育関係者の文化・福祉の向上と生活の安定を図るとともに、教職員の相互共済及び福利を増進することによって、兵庫県教育の振興発展に寄与することを目的とするこの会の事業のうち、厚生に関する事業について、県が平成16年度において1,236,112,000円の補助金を交付しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成16年度補助対象事業の決算

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
共 済 給 付 金	628,004,065円	県 補 助 金 収 入	1,236,112,000円
福 祉 給 付 金	373,509,400	繰 入 金 収 入	1,060,371,711
そ の 他 給 付 金	2,310,000		
事 業 直 接 費	298,058,336		
本 部 福 祉 事 業 費	379,511,106		
支 部 福 祉 事 業 費	16,890,923		
生 涯 福 祉 事 業 費	9,790,799		
相 談 事 業 費	1,500,000		
人 件 費	141,049,563		
支 部 人 件 費	359,073,154		
管 理 運 営 費	86,786,365		
当 期 支 出 合 計	2,296,483,711	当 期 収 入 合 計	2,296,483,711

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

財団法人 兵庫県体育協会

1 監査の対象

県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もってスポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的とするこの協会に対し、基本財産562,479,000円のうち366,080,000円を県が出えんし、平成16年度において次のとおり財政的援助等を行っているので、この協会の出納その他の事務について監査を実施した。

区 分	内 容	
補助金	兵庫県体育協会運営費補助	73,421,000円
公の施設の管理委託	県立文化体育館等管理委託料	949,261,049円

2 監査の結果

(1) 平成16年度決算

収支計算書

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
事業費	4,274,445,345円	基本財産運用収入	14,219,774円
管理費	317,311,012	会費収入	8,890,000
固定資産取得支出	1,818,000	事業収入	3,341,720,070
特定預金支出	55,395,467	補助金等収入	1,236,095,496
繰入金支出	7,399,000	負担金収入	11,683,919
		雑収入	7,285,832
		基本財産収入	300,000
		特定預金取崩収入	37,066,770
		繰入金収入	7,399,000
当期支出合計	4,656,368,824	当期収入合計	4,664,660,861
当期収支差額	8,292,037	前期繰越収支差額	559,092,634
次期繰越収支差額	567,384,671	収入合計	5,223,753,495

(注) 補助金等収入に県補助金73,421,000円及び県の公の施設の管理委託料904,058,144円(消費税及び地方消費税45,202,905円を除く。)を含む。

正味財産増減計算書

減少の部		増加の部	
科目	金額	科目	金額
資産減少額	57,921,962円	資産増加額	80,432,493円
負債増加額	27,264,823	負債減少額	43,009,095
合計	85,186,785	合計	123,441,588
当期正味財産増加額	38,254,803		
前期繰越正味財産額	1,571,812,478		
期末正味財産合計額	1,610,067,281		

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,065,639,747円	流 動 負 債	416,758,684円
固 定 資 産	1,205,312,874	固 定 負 債	244,126,656
		正 味 財 産	1,610,067,281
		(うち基本金)	(562,479,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(38,254,803)
合 計	2,270,952,621	合 計	2,270,952,621

(注) 1 収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表とも一般会計、スポーツ少年団会計及び給食会計を合算したものである。

2 固定資産から控除した減価償却累計額 309,423,190円

3 固定資産から控除した圧縮特定引当金累計額 25,314,000円

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

1 監査の対象

兵庫県警察の運営に協力するとともに、兵庫県警察職員の福利増進等を図る事業を行い、もって警察活動の能率的な遂行に寄与し、県民の福祉の増進に資することを目的とするこの会の事業のうち、厚生に関する事業について、県が平成16年度において269,481,000円の補助金を交付しているため、これに係る出納その他の事務について監査を実施した。

2 監査の結果

(1) 平成16年度補助対象事業の決算

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
給付事業費	108,031,322円	会費収入	236,899,000円
レクリエーション事業費	441,413,169	補助金収入	269,481,000
単年度福利事業費	16,386,854	雑収入	667,774
管理費	122,182	寄付金収入	42,476,000
繰入金支出	20,000,000	繰入金収入	20,000,000
積立預金支出	10,000,000		
当期収支差額	26,429,753		
合 計	569,523,774	合 計	569,523,774

(注) 共済事業会計及び福利事業会計を合算したものである。

(2) 意 見

出納その他の事務は、おおむね適正に執行されているものと認められた。